

目 次

- ・ 定年退職記念講演会 3
- ・ 定年退職にあたって 3
- ・ 第15回公開講座 無事終了 5
- ・ 財) 大学基準協会の大学評価・認証評価結果 5
- ・ 学位(博士)授与報告 6
- ・ 平成19年度 大学卒業式・大学院学位認証式 6
- ・ 平成19年度 卒業式学長告辞 7
- ・ 平成19年度 卒業式理事長式辞 8
- ・ 平成19年度 卒業式来賓祝辞 9
- ・ 第101回 歯科医師国家試験結果 10
- ・ 寄 贈 11
- ・ 平成20年度 大学・大学院入学式 11
- ・ 平成20年度 入学式学長訓辞 11
- ・ 平成20年度 入学式理事長式辞 12
- ・ 叙位・叙勲 13
- ・ 平成20年度 事業計画 13

- ・ 平成19年度 事業報告書 15
- ・ 収支決算 25
- ・ 監事監査 25
- ・ 大阪歯科大学 故今井久夫 前理事長・学長
他2先生に叙位・叙勲が授与される 26
- ・ 四川大学華西口腔医学院に四川大地震支援物資を寄贈 26
- ・ 平成20年度解剖体慰霊祭 27
- ・ 父兄会・共済会総会開催 27
- ・ 平成21年度 大学入学試験の概要 27
- ・ 一入試要項及び学納金の引き下げ 27
- ・ 五つの力(りょく)の目標 28
- ・ 本学副学長 神原正樹 教授 FDI(世界歯科医師
連盟) Council(理事会)メンバーに就任 28
- ・ 人 事 28
- ・ FDI世界大会でFDI/UNILEVER POSTER AWARD 受賞 44
- ・ あとがき 44



平成19年度 大学卒業式・大学院学位認証式
(平成20年3月14日)

平成20年度 大学・大学院入学式
(平成20年4月4日)

中村正明教授、井上宏教授
定年退職記念講演会

平成20年3月末で定年退職となる中村正明教授、井上宏教授の「定年退職記念講演会」が、2月16日（土）午後2時から、本学楠葉学舎第5大講義室で開催され、多数の教職員が熱心に聴講した。

中村教授は『メッセージ・本学創立100周年 そしてその先へ』、井上教授は『教授仕事20年あんなこと・こんなこと - 補綴咬合学の研究・臨床 - 』と題して、永年教授職、理事職として奉職されたご経験を踏まえ、後に残る教職員に対する熱い思いを語られた。

講演の最後には、お二人に花束が贈呈され、お二人のご功績に心から敬意を表した。

定年退職にあたって

平成20年3月31日付で、中村正明教授、井上宏教授、虫本浩三准教授、湊川徹准教授、星野茂病院教授、成川公一病院教授の計6名の先生方が定年退職されました。

また、みなし定年として、魚部健市先生をはじめ教職員16名が退職されました。そこで中村正明先生、井上宏先生から退職にあたっての一文を寄稿いただきましたので掲載させていただきます。

定年退職にあたって

中村 正明

このたび、本学の規程により、定年退職を迎えることとなりました。まず最初に、今日まで健康で職責をまっとうすることができましたことを何よりの喜びとし、これまでに賜りましたご厚誼、そして、ご支援・ご協力に対しまして、大学をはじめ、歯科理工学研究室ならびに多くの学内外の関係の皆様へ心から感謝申し上げます。



思い返しますと、1959年に本学に入学、卒業後の

1965年に大学院へ、そして修了後にオーストラリア留学を経て、1973年に本学に奉職して、今日まで教員として突き進んでまいりました。1986年には、多くの先輩教授のご推薦により、教授職を拝命いたしました。伝統ある本学の教授としての重責は、年を経るにつれて身にしみて感じつつ、担当する講座の活性化に努めました。私が真に恵まれていたのは、研究室の各メンバーが仕事に意欲的で、学生の教育指導にも熱意をもって当たってくれた点です。そのおかげで、私自身は自らの立場で専攻する歯科理工学の教育・研究、そして社会的活動にと力を注ぐことができました。そして、1993年以降は加えて本学の管理運営の一翼を担うこととなりました。

1997年、本学が枚方市楠葉の地に新学舎を設けて、最新の教育施設・設備でスタートを切ったその年に、我が歯科理工学研究室も、講座開設50周年を迎えることとなりました。本学の中では、他の基礎系研究室に於いて中程度の歴史を有し、当時の学制改革に伴っての誕生でした。研究室の、この大きな節目を寿ぐ祝賀会には、奥野喜一同窓会長、佐川寛典理事長・学長（いずれも当時）をはじめ、理事、教授、そして関係の学会会長をご来賓として、研究室ゆかりの多くの方々が集い、新たな出発を期すことができましたことは、最も光栄なことであったと存じております。

今回、川添堯彬学長のご高配によって、以前に行われていて、近年は実施されてこなかった退職記念講演会を、本年2月16日に盛大に復活開催していただきました。題して「メッセージ：本学創立100周年、そしてその先へ」の記念講演の中で、私の体験から何を考え、何を伝えるかを申し述べました。次いで2月29日、学生への最終講義を「自分の星を見つめて」と題して、自ら選んだ道を究めて欲しいと訴えました。私が本学に入学して以来、今日までほぼ半世紀が経ち、3年後には母校大阪歯科大学は、創立100周年の歴史的に大きな節目を迎えます。

今、大学は種々の課題をかかえており、本学もその例外ではありません。加えて、歯科特有の諸課題もあります。現下の喫緊の課題である受験生確保対策として、本学では新年度に入っすぐに、学納金の大幅見直しを法人理事会が決定しました。来年度の入試には、早速にその効果が期待されることです。一方、長期的には、入学させた学生を教学側が、如何に多く歯科

医師国家試験に合格させられるかが、社会からみて、真の本学の総合的な教育力評価につながることとなりましょう。本年度の大学入試の結果発表が、7月末に行われました。合格者数が定員に満たなかった4年制私立大学が、昨年の40%を上回って、ほぼ半数の47.1%になったと報じられていました。この課題がひたひたと押し寄せてきているな、ということを実感するニュースではありません。

これまでに、諸先輩が血の滲むような努力と忍耐とで幾多の困難を乗り越えて下さったお陰で、今日の本学があります。そしてこれから、目の前に横たわる未曾有の困難も、本学の歴史と伝統の力、川添堯彬理事長・学長を先頭にして本学関係の人たちによる叡智の結集によって必ずや解決して、確かな歩みを続けていただけるものと確信いたしております。

再び、皆様にこれまでに賜った数々のご厚誼に深く感謝申し上げます。本当に有り難うございました。



定年退職にあたって思うこと
—43年間を振り返っての反省—
 井上 宏



退職して、すでに5ヶ月が過ぎようとしています。every day Sunday (サンデー毎日)で、ゆっくりとした時間の流れと静けさの中で、日本の自然や文化を楽しんでいます。今は、オリンピックと野球に夢中ですが、今回、ODU NEWSへの退職の挨拶文寄稿の機会を戴きましたので、43年間の教員活動を振り返ってみて、その反省を書く事にしました。これから活躍してもらおう若い先生方に役立つかもしれないと思ったからです。



まず、最初に浮かんでくる反省は、私の英語力の不足でした。このことは、助手・講師時代よりも、教授職としての仕事に大きな制限となり、活動のチャンスの幾つかを失ったと思います。英語論文での研究アピール、外国学会での研究発表、座長の受諾などの抑制、そして同じ分野を研究する外国の学者との交流に消極的になってしまったことです。とりわけ、著名な

学者とのお互いの人間性を認め合い、親しく文化を語り合うコミュニケーションができなかったことが悔やまれます。globalな活動が益々強まる中、英語力は教授職として必須のitemであることを反省をこめて強調しておきたいと思います。

次に、この英語にも関連する留学についてです。私の場合は、留学経験のなかったこともマイナスとなっています。留学は、globalな感覚と英語力をつける絶好の場でもあります。研究をしながら同世代の諸外国から来ている研究仲間を得るチャンスでもあります。将来、この研究仲間は、自国に帰って教授となる可能性が高く、情報ネットワークが構築でき、友人感覚で交流できるメリットは大きいと考えます。私は大学院課程ではなく、32歳の助手の時に、歯周組織の力学的研究として、歯へのインパルス刺激に対する支持組織の過渡応答の研究で博士論文を書きました。この研究は、ドイツのキール大学のK. H. Korber教授の研究に憧れて行ったものでしたが、彼には手紙を書き、船便で日本人形を送り、研究の示唆を得たり、日本で入手しにくいすべての文献を送ってもらったことを思い出します。歯学博士取得後に、キール大学への留学も考えましたが、実行する勇気がありませんでした。その後、日本にコーヌス・テレスコープ義歯が導入され、その考案者としてK. H. Korber氏は何度も来日し、講演され、一躍有名人となりました。もし、キールに留学していれば、エキサイティングな活動ができたのではないかと考えています。留学はやはり今でも大切なキャリアとして考えます。大学は人材育成戦略の1つとして留学を推奨し、また、支援を行うべきだと思います。

3つ目の反省は、具体的な事例ですが、パーソナルデンチャーの講座として、欠損歯列の補綴治療の方法の一手段としてのデンタル・インプラントの臨床導入に躊躇し実行できなかったことです。補綴治療法の1つの引出しとしてのインプラント補綴法の修得は、将来的に必須のものと認識しておりながら実践できなかったことは、私のリーダーシップの欠如のなせるものと考えます。いつのことも、新幹線でWedgeを読んでいて、リーダーシップの要件の1つとして「自分の理念にひるむことなく最後までやり遂げる」という記述がありましたが、教授には、やりたいと思うことは周りを気にしないで、そして諦めないで最後までやり

遂げる実行力の必要性を痛感している次第です。

最後は、学生教育についてです。臨床の教員は、研究・臨床・教育の3本柱を念頭に入れてバランスの良い活動が望まれますが、私自身は教育への取り組みの努力が少なすぎたと反省しています。学生のやる気のなさや、基礎学力不足、受講態度の悪さを声高に言う前に、十分に教育技法をマスターしたうえで、学生講義の工夫と努力を惜しんではいけないと思います。講義の良さが、学生の勉学のモチベーションを高め、それが国家試験の合格率を高めることになると確信しています。自分の講義の良し悪しは、第三者の評価がなければ全くわからないという怖さがあります。教授就任から病院長職につくまでの17年間は、局部床義歯学の講義は自分1人で行い、平成10年からは評価項目に基づいた学生からの授業評価を受けましたが、自分の講義の何処に不満を持っているのか気づいた点でよかったです。学生評価は思っていたより真面目で、的を射たものであったことを付記しておきます。

なにやら、定年退職の挨拶文というより、私の43年間の教員活動や、また教授職としての懺悔録のようになりましたが、なにかの参考になれば幸いです。

最後になりましたが、ライフワークを終え、無事定年退職を迎えることができましたことに、直接の御指導を賜りました三谷春保名誉教授、故 西浦恂名誉教授をはじめ、共に頑張ってきた講座員、そして苦勞を共に分かち合った仲間の教授の先生方、そして御協力を戴きました皆様様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

第15回公開講座
「知りたい最新歯科治療」無事終了

平成19年8、9月期、平成20年2、3月期の2期に分けて、「第15回大阪歯科大学公開講座 知りたい最新歯科治療」（毎週土曜日、午後2時から午後4時まで）

2、3学期枚方講座は、本学楠葉学舎講堂で開催された。延べ受講者数は587名（第1週目は164名、第2週目は154名、第3週目は106名、第4週目は163名）を数えた。4週連続受講者114名の方々に講座修了証を授与し、好評のうちに無事終了した。



講演者の井上宏 先生



講演の様子

日程	演 題	講 演 者
2月16日 (土)	お迎えはまだまだ早い“めし”の味 一歯の大切さと入れ歯の役割ー	井上 宏
2月23日 (土)	口腔インプラント治療を受ける前に	江藤 隆徳
3月1日 (土)	専門病院ならではの小児・障害者 歯科治療	大東 道治
3月8日 (土)	誰もが知りたい歯周病の予防と治療	上田 雅俊

財) 大学基準協会の大学評価・認証評価結果で
高い評価を得る

本学は、財団法人大学基準協会の平成19年度大学評価・認証評価を申請し、平成20年3月11日付けで「評価の結果、貴大学は本協会の大学基準に適合していると認定する。認定の期間は2015（平成27）年3月31日までとする。」との認定を受けた。

国公立大学は、学校教育法により2004年度以降7年ごとに国が認めた認証機関において、上記の大学評価・認証評価を受けなければならないことになっている。

大学基準協会は、アメリカのアクレディテーション機関をモデルに1947年に創立され、これまでも数多くの大学に対してピア・レビューを行っており、2004年8月31日に文部科学大臣から認証評価機関として認証された団体である。

なお、今回の認証評価では、「教育内容・方法」、「学位授与・課程修了の認定」、「研究環境」、「社会貢献」が本学の長所として高い評価を得た。今後とも、本学のさらなる向上に向けて邁進していかねばならない。

長所の概要は以下のとおりである。

(1) 教育方法等

学部において、各学年、学生20人あたり1名の助言教員を置いている制度については、きめ細かい履修指導として特記できる。また、学部のFDに関して定期的な研修会を開催し、教員の資質向上に取り組んでいることは高く評価できる。

(2) 学位授与・課程修了の認定

学位論文は、すべて査読制度のある専門の国際誌、日本学術会議に登録されている学術雑誌に掲載または受理され掲載証明書が発行されている論文と規定化されており厳格性を保持している。

(3) 研究環境

「ODUオープンセミナー」は、平成元年6月から平成18年末まで250回開催し、研究発表の機会を整備していることは高く評価できる。

(4) 社会貢献

学部学生が、大阪市にある66箇所の社会福祉施設で、介助や行事に参加する体験学習を行い、多様な価値観、他者との共生の意義等を育む取り組みは、大きな特色である。

公開講座は、13年間で延べ14,623人が受講しており、各回の皆勤受講者数の平均が90人と地域市民からの要望に込えている。

(今回の大学評価・認証評価結果は、点検・評価報告書、大学基礎データとともに本学のホームページ <http://www.osaka-dent.ac.jp/> に掲載している。)

学位(博士)授与報告

鄭 文明 乙第1498号 (平成19年9月26日)

ヘッドギアとバイオネーター併用による台湾人成長期上顎前突症患者の顎顔面頭蓋の変化

遠藤 佳樹 乙第1499号 (平成19年12月26日)

一酸化窒素の脳脊髄液循環への影響

天方 靖治 乙第1500号 (平成19年12月26日)

Jurkat 細胞におけるCXCL12によるインテグリンの活性化とアクチン重合に及ぼす影響

田中 義人 乙第1501号 (平成19年12月26日)

ヒト骨芽細胞様細胞 XII 型コラーゲンスプライス変異体のIL-1βに対する応答

山中 善樹 乙第1502号 (平成19年12月26日)

In situ polymerase chain reaction によるヒト口腔癌におけるEpstein-Barr ウイルスおよびヒトパピローマウイルスの検出

日高 厚 乙第1503号 (平成20年3月26日)

自然発症歯周病ラットにおける炎症性サイトカインの動態

小池 宏忠 乙第1504号 (平成20年3月26日)

実験的咬合干渉が心電図R-R間隔の周波数のパワースペクトルを変化させる

岡本 千早也 乙第1505号 (平成20年3月26日)

オクルーザルスプリントによる咬合時の下顎動揺の変位様相

平成19年度 大学卒業式・大学院学位認証式

平成19年度大阪歯科大学ならびに大学院学位認証式が、平成20年3月14日(金)午前10時から楠葉学舎講堂において行われた。

開会の辞、国歌斉唱のあと川添学長より大学卒業生名、大学院修了者名一人ひとりに卒業証書ならびに学位認証書が手渡された。

川添学長・理事長が告辞ならびに式辞を述べ、続いて記念品および感謝状の贈呈が行われ、最後に学歌を斉唱して平成19年度卒業式は無事に終了した。



平成19年度 卒業式学長告辞
学長 川添 堯彬

近年、珍しく寒さの厳しかった冬も、啓蟄を過ぎますと、次第に春めいた陽気が感じられますこの良き日に、第56回大阪歯科大学卒業式を迎えられました118名の学部学生の、並びに第44回大学院学位認証式を迎えられました25名のみなさん、本日は誠におめでとうございます。



同時に、本席にご臨席いただきましたご父兄、ご家族の皆さまにおかれましても、ご子弟の晴れ姿を目の当たりにされ、大学6年間、大学院4年間のご苦勞も消え、ご子弟に対する新たなる夢と希望に胸を膨らませておられることと拝察いたします。

さて、学部ご卒業の皆さんに申したいと思います。皆さんが、まもなく見事に国家試験に合格されて、歯科医師になられるわけですが、これからさらに研修を積まなければ、一人前の歯科医師にはなれません。すでに周知のように、今年卒業される皆さん方には、卒業臨床研修制度が必修化されて、3年目を迎えるわけです。やっかいなことに、この研修を修

了しなくては、将来の病院開設者、あるいは病院長・歯科医院開業等に携わることができないシステムであり、大学のみで研修を積む単独型と、大学研修と診療所研修を併用した複合型制度の二つに大別されます。皆さん方は、マッチング等がうまく行えましたでしょうか。好むと好まざるとに拘らず、あなた達は、この単独型か、協力施設の開業医や歯科病院等のマッチングにより、1年間の研修が義務づけられるわけであり、この研修の意図は、厚生労働省によりますと、全人教育により、これからの歯科医師の資質の向上を図り、クールヘッド、ウォームハートを持った歯科医師を世に送り出すためとして、卒業年度の歯科医師を対象に、3年前に義務づけられたものであります。その意味でも、今春卒業されます皆さん方におかれましても、その趣旨をよく理解して頑張ってくださいたく願っております。

私は、ここで卒業生の皆さん方に、社会に出てからの、あるいは社会に入ってからと言った方がふさわしいかもしれませんが、これからの皆さん方が目標とする歯科医師像について、こんな歯科医師になって欲しいという、私からの願いを申し上げたいと思います。それは、具体的に三つの歯科医師像であります。

一つ目は、患者さんに感動してもらえる人で、それを喜びと思える歯科医師であります。患者さんは一般社会人であり、一般国民であります。その患者さんから、感動と感謝の気持ちが伝えられ、それを喜びとできる歯科医師になっていただきたいわけです。

二つ目は、患者さんから、また再びこの歯科医の先生に診てもらいたいと思ってもらえるような歯科医師であります。これも、信頼を確保し、社会貢献につながることを思います。

そして三つ目は、この職業、歯科医師になってよかったと思える歯科医師であります。これも、本学の建学の精神にかなったことであります。ご父兄、保護者にとっても、また、本学の教員としましても、最もうれしいことでありますし、また切なる私たちの願いでもあります。どうかこの三つの歯科医師像を、これから社会に根ざして、一人前の歯科医師となるに際して、どうぞこれを、達成する次なる目標にしてくださいと思えるのであります。そして、この三つの歯科医師像の一つでも達成できたときには、一度大学に寄っていただいて、昔いろいろお世話になった先生に連絡

を取って、喜びを共にしていただきたいと念願する次第であります。

一方、大学院博士課程を修了されました皆様方は、それぞれが専攻講座の指導教授の下での研鑽に努め、専門分野での知識をより深められたことと思います。しかし、単に学位を取得したことに満足せず、得られた知識や専門分野での研究成果を、これからの歯科医療分野に反映させていただきたいわけであります。そのことが、この4年間お世話になった大学、あるいは情熱あふれる研究指導いただいた指導教授ならびに、貴重な提言をいただいた、ライター、インストラクターをはじめ、協力を惜しまなかった講座の先生方への恩返しにもつながるものと思います。

とりわけ、一昨年4月からは、全国の大学に置いて、新しい教員組織が実施されております。本学におきましても、その例外ではなく、従来、教授・助教授・講師・助手という階級での職位でございましたが、それに変わって、教授・准教授・講師・助教という職位でスタートしております。とりわけ、新しい職制であります助教といえますのは、従来の助手とは大きな異なりがあり、将来の教授や准教授へのキャリアパスとして位置づけされ、研究はもとより学生教育、あるいは大学院生の指導等に携わることができ、将来は大学における教学の中核となるべき人材として育てたいと願っている職制でございます。本年度の大学院修了者から、講座に残られる場合には、この助教からスタートする重要な職責を担うことになります。

以上のように、大学を含めた歯科界全体が、大きな移り変わりを見せていますように、歯科医療の場であっても、大きな変革が起こっていることは事実であります。すなわち、再生医療の発展に伴う、修復から再生への変遷や、個々の遺伝子解析による疾患発生機序の解明、組織の侵襲を最小限にとどめる、ミニマムインターベンションの概念、さらには全身疾患を踏まえての歯科医療、治療医学から予防医学への移り変わりなど、著しい変革を遂げております。これらによって、これらを活かした患者中心による診療システムを取り入れて、患者さんのニーズに応える診療を行う歯科医師としての自覚と専門知識の研鑽、さらには医療スキルの習得に今後も努められ、国民の歯科的QOL、すなわち歯科における資質的に満足した生活が与えられる歯科医療を施さなくてはなりません。同時に、将

来の歯科界を背負って立つ皆さん方には、本学や我が国のみならず、広く国際的な舞台にまで羽ばたいていただくことを念願して、学長の告辞といたします。



平成19年度 卒業式理事長式辞

理事長 川添 堯彬



本日、平成19年度の第56回大学卒業式、並びに第44回の大学院学位認証式を迎えられた118名の学部学生、並びに25名の大学院の修了者の皆さん、本日は誠にめでとうございます。



また、本日ご臨席いただきましたご父兄の皆さま方には、さぞやこれまでのご苦労を思っておられると、感無量のことと拝察いたしております。

さて、この学部学生の卒業生の皆さんには、胸に一つのまだ心配がございます。すなわち、2月に行われました歯科医師国家試験のできばえのことでございます。本日の皆さん方のお顔を拝見いたしておりますと、充分自信に満ちたお顔が大勢おられるよううかがえるわけでございますけれども、理事長としては、大部分の安堵と共に、まだ親心としての心配も残っております。3月27日の合格発表が楽しみでもあり、気がかりでもございます。

また本日、大学院博士課程を修了されました皆さん方には、これまでの知識と研究に対するいろいろな成果、そしてまた技術を一つのプロフェッショナルとして、習得したわけでございますけれども、さらに今後はそれらを発展させるべく、研究・研鑽を続けていただくと同時にまた、本日の学部学生の先輩として、模範となるような人間性をこれから磨いていただきたいと思っております。そして、行く行くは本母校を背負って立つ新たな有意な人材として、また今後伸びていただきたいわけであります。今後、本学は大学院で巣立られた方のご活躍を、今後も注視し、大いに期待をかけております。

歯科界は、大変にいろんな面から逆境、逆風にある

と言われております。しかしながら、これらは、以前のような非常に努力しなくても、みんながそれぞれ達成できた時代に比べて、今は厳しいということではないかと、私は思っております。努力する人にとっては、これが本当の社会であり、また一つ頭角を現すチャンスでもあるというふうにと捉えられます。一つの逆境が、少しは続いて、それらがいつまでも続くことはありません。医療にとって、我々の歯科医療がどんなにか世の中から必要とされることが、再び引っぱりだこになる時代が必ずやってくると念願しております。そして、諸君たちが、これから社会において活躍する場は、単に歯科の従来に領域だけではなくて、広いフィールドにまたがって、無限に、無数にテーマが、あるいは責務が揃っております。

私たちは、ここで教育を受けた学部の卒業生の皆さんや、大学院修了者が、今後社会に出て、のびのびと、大いに、あるいは世界中で活躍されることを、心から念願する次第でございます。私たちは、さらに将来に希望を作るべく、教育・研究・臨床の面で支え、本学の伝統にふさわしい大学作りをしていかなければならないと思っております。そして、皆さん方が、いつかこの大学を支えるべく、中核として、また残って、あるいは帰ってきてくれることを今後とも期待いたしまして、本日の理事長としてのお祝いとさせていただきます。



平成19年度 卒業式来賓祝辞
同窓会会長 三谷 卓



大阪歯科大学、同窓8500余名を代表いたしまして、新しく卒業された皆さんに、一言お祝いを申し上げます。

その前に、まずご父兄の方々におかれましては、ご子弟の勉学のために今日まで物心共にわたって支えてこられ、今日のこの日を一日千秋の思いで待ちわびてこられたことでしょう。長年のご労苦に、衷心よりご慰労申し上げます、心からお喜び申し上げます。



さて、卒業された歯学士の諸君には、卒業誠におめでとうございます。全国の同窓会員は、諸君のこの輝ける旅立ちに、万空の拍手を送るものであります。振り返りますと、諸君は小・中・高、さらに本学において、都合18年間という長い年月、蛍雪の功を積んでこられました。大学教育を終わったという今の達成感、生涯忘れることのない記憶となるでしょう。さらにこの月末には、歯科医師への第一歩としての国家試験の発表がありますが、よい結果が出ることを我々も心から祈る思いであります。大学院を修了された皆さんは、長年の研究をまとめられ、歯学博士の認証を受けたという大きな自信を得られました。今後は、研究指導に当たられることになるでしょうが、さらに人間性を高め、幅広い魅力を身につけてください。

新しい歯学士のみなさんは、学習という机の上の社会、すなわち書物を介しての、バーチャルなコミュニケーションから、医療という人と人との直接の対面によって成り立つ場に、これから立つこととなります。よりヒューマニズムなコミュニケーションを身につけなければなりません。尊敬と信頼を得られる歯科医となるために、これからの研鑽と修練が重要になります。IT社会に慣れた現代の若者には、他人とのふれあいが苦手であると言われていますが、医療人であるためには、相手に対する寛容、痛みのわかる感性が求められます。受け身になって、相手を理解できれば、より暖かい言葉が自然に出てくると思います。きっと、それが諸君の魅力になることだと思います。

諸君の将来は、果てしなく広大で輝いているのです。すべての可能性に満ちています。苦労や挫折も、これから出くわすこともあるでしょうが、それを克服していける若さがあるのです。そのためには明確な目標を持つことです。NHK番組のフルスイングのように、夢に向かって向上心を持ち続けることです。その志が、苦難の壁を乗り越え、将来への道を開いてくれると思います。

同窓会に関して、一言申し上げておきます。諸君は、本学の大学56回生として、同窓会の新しいページを飾ることとなります。諸君はこの6年間の大学生活で、かけがえのない財産を手に入れているのです。それは、貴重な大学での体験、先輩、後輩、そして生涯つき合うことのできる友人を得たこととなります。かのゲートは、空気と光と、それに友情こそが人生に必要なであ

ると言っていますが、君たち同級生は互いに一生同じ職業人として、同じ価値観を持ってつき合える仲間です。時には、よきライバルとして今後も切磋琢磨していくことでしょう。全国同窓会はその延長線上にあります。本学では、同窓会は他大学とは異なり、母校の存立・運営に関与して、また支援していく立場にあります。先輩たちは、母校愛、大歯魂の気概を伝承してきました。諸君も生涯、大阪歯科大学同窓としての、看板と誇りをもって歩むことになります。我々は、同窓から互いに活力を与えあうのです。これから皆さんは、同窓会員としての責任を共有していくことになります。今、卒業したばかり、目の前にいろいろの課題があると思いますが、いずれ56回生として、団結して、同窓会への参加、また、100周年へ向かって結集してください。

最後になりましたが、諸君の健康と、これからの身の安全・管理、そういうことに充分配慮していただき、社会に貢献していただくことを信じております。本当におめでとうございました。祝辞といたします。



第101回 歯科医師国家試験結果

第101回歯科医師国家試験の合格発表があり、その結果は次の通りであった。

- ・ 試験日：平成20年2月9日(土)・10日(日)
- ・ 試験場：大阪産業大学(大阪府大東市)
- ・ 合格発表：平成20年3月27日(木)

第101回 歯科医師国家試験結果

	受験者数	合格者数	不合格者数	合格率
新卒	118	90	28	76.3%
既卒	62	22	40	35.5%
合計	180	112	68	62.2%
全国	3,295	2,269	1,026	68.9%

今年の受験者数は3,295名で、昨年に比べ95名程少なく、合格者も100名近く減少し、合格率は68.9%で昨年より5.3ポイントも下がった。その中であって、本学の合格率は昨年とほぼ同じだが、新卒者だけでは76.3%(私立歯科大学歯学部17校中上位から8番目)、90名の合格者数で昨年より6.8ポイントアップし、その健闘が目立った。

寄 贈

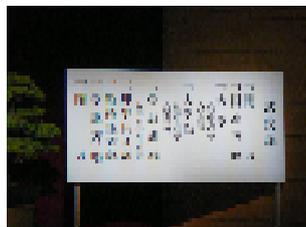
下記の寄贈を受けましたので報告します。寄贈いただいた各位には心より感謝いたします。

- ・大阪歯科大学第56回卒業生
卒業を記念して 平成20年3月14日寄贈
牧野学舎Annex学生ホール ソファー一式
- ・中村 正明 名誉教授
定年退職を記念して 平成20年3月19日寄贈
学術研究奨励基金として 1,000,000円也
平成19年度日本歯科医学会会長賞受賞を記念して
学術研究奨励基金として 200,000円也
- ・井上 宏 名誉教授
定年退職を記念して 平成20年3月19日寄贈
学術研究奨励基金として 1,000,000円也
- ・大阪歯科大学漕艇部松籟会 会長 山本 彰美 氏
平成20年5月31日寄贈
漕艇競技用ダブルスカル艇(艇本体および備品一式)
評価額 1,800,000円也
- ・大阪歯科大学第32回卒業 故 鳴神雅典 先生ご令室
鳴神優子様 平成20年7月16日寄贈
学術研究奨励基金として 500,000円也

平成20年度 大学・大学院入学式

平成20年4月4日(金)午前10時より、平成20年度大阪歯科大学ならびに大学院入学式が挙行された。

式典は開会の辞で始まり、国家斉唱の後、大学128名、大学院18名の入学許可が宣され、川添学長が訓辞ならびに理事長としての式辞を述べ、無事滞りなく終了した。入学式終了後、引き続き父兄会ならびに共済会が開催された。



平成20年度 入学式学長訓辞

学長 川添 堯彬

桜前線上陸の便りも、例年よりも若干早いとの予想が全国各地から届けられています。この良き日に、平成20年度の大学・大学院入学式が挙行されるに際し、本学教員各位を代表して、学長としての訓辞を申し述べます。



先ず、このたび、本学に入学された128名の学部学生皆さんへ申したいと思えます。諸君は、確かに本学に入学を許可された恵まれた128名の新生に違いありません。しかし、ここでおめでとう、とばかり言われて安心、安堵してはなりません。諸君らの務めはこれからが始まりです。諸君らの真の喜びは6年後に得られるもので、今はそのマラソンレースのスタート台に立ったばかりの身であることを忘れてはなりません。その意味から学長としては、まだ、君たちに「おめでとう」は申しません。かわりにこれからの「熱意と努力」に期待します、と申し上げたい。しかしながら、私は君たちを誇りに感じています。君たちに、敬意と感服をすでにこの時点で覚えています。

諸君は、団塊の世代でなく、少子社会の中で生まれた訳ですが、そのような諸君に「えらい、立派だ」と思う理由の一つは、今年よくぞこの歯科医師の道を選び、本学を受験してくれたことです。私は学長として今年はどうな学生が入学してくるか楽しみ半分、不安半分で注目していました。その結果は、ずいぶん学力の高い学生が入り、総じて学力レベルの高い学年になりました。これからの教育、指導や成長が楽しみに思えます。一部マスコミでは、この業種の将来は収入が少なく生活も苦しいとさえ云うものもありました。そんな噂に影響されることなく、あえて歯学の道を選ばれた諸君に敬意と賛意のエールを送りたいと思えます。一つの流行にすぐに付和雷同して、そちらへ押し寄せる選択でなく、冷静に10年先、20年先を目指して生きがいやチャレンジ精神をもって進もうとする若者に、こよなく魅力と頼もしさを感じます。努力する人に

とって、これからの歯科医学の道は必ずや明るいものになることは、近隣諸外国や世界全体の例をみても明らかであります。

今年の入学生をみて、私は学長としても一つ大きな感動と感銘を覚えたことがあります。

その一人A君は、京都の有名進学校を出て、本学を専願で受験し、見事に優秀な成績で合格しました。常識的には、A君の成績からすれば難関の国立大学でも合格できる実力です。その彼が本学を専願した訳は、彼の父親がかつて大阪歯科大学にあこがれて志願したのですが、合格できなかった無念があり、それを長男としてのA君がずっと聞いて育ち、ここで父親の雪辱を果たすことができたのです。彼はさらに、卒業後は大学院へも進みたいと、すでに次なる目標・志をしっかりと打ちたてています。このような学生さんが居てくれれば、本学の将来も150周年、200周年と不滅に発展して行くものと確信しています。

さて、大学院に入学されました28名の皆さんへ、皆さんの研究心・探究心をさらに極めたいとのチャレンジ精神や熱い情熱の発揚に対し、心からの敬意を表します。

大学院の博士課程は、歯科医学の深奥を究明する目的や、歯科医学・口腔医学の体系確立などの根源的意義がありますが、それと同時に、臨床歯科医療への高度先進技術の開発の目的や科学的思考法の涵養、研究メソッドの修得など幅広い履修意義があります。

28名の新大学院生の皆さんは、それらのいずれかを習得するために入学されたことと思います。その熱意あふれるチャレンジ精神に、万腔の賛意とエールを贈りたいと思います。

4年後にはそれぞれの成果が見事に実って博士の学位を取得されますことを祈念して学長からの激励・訓辞といたします。



平成20年度 入学式理事長式辞
理事長 川添 堯彬



まさに桜開きの便りが全国各地から送られてくるこの良き日に、ご来賓の皆様、関係各位の方々をはじめ、多くのご父兄ご家族皆様にご臨席を賜り、128名の学部学生ならびに28名の大学院生による平成20年度の

入学式が挙行できましたこと、誠に慶賀にたえません。あらためまして、御臨席の皆様方にお祝いと御礼を申し上げます。

まず、本日をもって、本学の学生として在学される学部学生の皆さんに、理事長としての式辞を申し上げます。

本学は1911年（明治44年）に創立され、今から3年後の2011年には100周年を迎える伝統ある大学であります。貴方がたも、今日から我々と共に、諸先輩の築かれた大学愛、校風、そして同窓としての絆を汚すことなく受け継いでいくわけです。本学の『建学の精神』は以下のように謳っています：「歯科医療における専門的知識、技能の重要性を自覚させ、旺盛なる研究意欲を醸成し、自ら選んだ道に強い使命感をもつとともに、社会に対する奉仕の人生観を体得させ、さらに健康にして活動力のある情操豊かな人間形成をおこなう」と。この精神をよく理解し、将来は国内にとどまらず、国際的にも活躍するサイエンティスト、歯科医療人になって頂きたいと願います。先ほどの学長の訓辞にもありましたが、このたび本学へ入学された皆さんは、よくぞ歯科医師の道を選ばれたとその慧眼に拍手を贈りたいと思います。世間や一部マスコミでは歯科医師過剰だとか、豊かなくらしは望めないなどの意見もあるようですが、それらは皮相的で間違ったとらえ方であります。これからの日本の超高齢社会、小児児童からの全世代を通じての高いQOL希求、全身疾患と歯科疾患との密接関係などにおいて、歯科医師の役割は高まるばかりです。30年前の高度経済成長時代のニーズは、勤勉でなく努力しない歯科医にも一様に光が当たったかも知れませんが、そのような一時期はバブルの幻にすぎません。現今の時代、これからの時代こそ、常態の健常な姿なのです。努力する人へのみ光が当たり、医療技術はますます度化・専門化していく時代です。そのような社会では、皆さん方は、まさに引っぱりダコになっていくでしょう。ただし、皆さんがこの道へ進まれるにあたり、社会から落伍しないために、ひとつ注意しなければならないことがあります。それは、歯科医師である前に、あるいは同時に『人間性』を養うことでもあります。そして、患者さんをはじめ国民、社会からの『信頼性』を獲得することです。これを怠ると、次第に社会からはじき出されてしまうこととなります。職業を持つ身にとって、最

もこわいのは『信頼性失墜』なのです。

どうかこのことを忘れないで、自己啓発・自己実現を目指し、これからの6年間の学生生活を楽しんで頂きたいと強調し、理事長からはなむけといたします。さて、大学院に入学されました28名の皆さん、本日は誠にめでとうございます。なお、今回大学院に入学されました方々は、歯科医師の免許を取得され、さらに必修化された1年間の卒後臨床研修を修了されたの上に、引き続き、より崇高な歯科医学の真髄を求めて、さらなる研究の道を選ばれたわけであり、そのチャレンジ精神には満腔からの敬意を表します。

私も昔42年前ですが、大学を卒業して進路を考えるとき随分迷いましたが、経済的生活は苦しかったのですが、大学院へ進んでよかったです、その後に強く思いました。先輩からも言われました。大学院へ進むのは最短距離でイージーに学位をとるためではない。その4年間の過程でどれだけ自分が苦勞したか、どれだけ努力したのかにある。したがって、同じ博士の学位をとっても各人の苦しみ、努力の仕方が違うように、学位の価値も人それぞれに違ってくるのだ。楽をして学位を取った人には、ほとんど価値はないと。

この言葉に私は目からうろこが落ちた感じがして、今に至っています。4年間ではノーベル賞はもらえないかもしれませんが、しかし、ノーベル賞をも狙える科学的研究手段・方法は4年間でも習えると思います。

どうか熱意ある28人の新大学院生の皆さん、これから一念発起のチャレンジ精神と不撓不屈の努力によって、果敢に進んでいただきたいと念願して、理事長の式辞といたします。



叙位・叙勲



昨年平成20年秋の叙位・叙勲者として、大阪歯科大学関係の先生方が、以下の通り受章された。

元理事長・学長 佐川寛典先生は、瑞宝中綬章を受章された。

平成20年 春の褒章・叙勲受章者

褒章

専門 31 回	上田 豊実	奈良県	藍綬褒章
大学 17 回	澤田 隆	兵庫県	藍綬褒章
大学 18 回	芦田 欣一	滋賀県	藍綬褒章

叙勲

専門 29 回	武田 謙二	三重県	瑞宝双光章
専門 29 回	溝上 正哉	和歌山県	旭日双光章
専門 30 回	森 昌彦	兵庫県	瑞宝中綬章
大学 4 回	佐川 寛典	奈良県	瑞宝中綬章
大学 5 回	河西 正勝	和歌山県	瑞宝双光章
大学 7 回	杉本 尚久	徳島県	旭日双光章
大学 8 回	和田 誠介	徳島県	瑞宝双光章
大学 11 回	古藤 英夫	滋賀県	旭日双光章



平成20年度 事業計画



平成23(2011)年の創立100周年を見据え、〈建学の精神〉と〈教育方針〉を基調として、歯科総合学園たる本学のさらなる発展を目指し、以下の計画を不断に実行していくものである。

【3つの基本方針】

〈財政基盤の改善、強化〉、〈教学資質の改善、向上〉、〈中核人材の育成、支援〉の3つの基本方針を根底にして、以下の諸事業を展開する。

- I. 大学運営
- II-a. 教学-教務部・学生部
- II-b. 教学-研究(大学・大学院)
- III. 附属病院
- IV. 教員組織改正に伴う対応
- V. 情報化、IT化、市民との交流への対応
- VI. 両専門学校の将来像
- VII. その他の重点計画

I. 大学運営

1. 学生学納金減額の検討

18歳人口の減少により、大学等の高等教育機関は、受験生確保が困難となってきた。このような状況に鑑み、入学志願者の増加を目指す施策の一環として、学納金について本学と同系大学と比較のうえ、減額を行うことを検討する。

2. 教職員の「兼業」の適正化

本学に勤務する教職員は、教育、学術研究、医療業務、事務及び用務並びに、その他の関連諸職務を遂行するに当たっては、職務の向上、改善に努めなければならない。兼業の適正化により職務専念義務の徹底をはかる。

II-a. 教学-教務部・学生部

1. 歯科医師国家試験合格率の向上

①受験生の増加策と入学生の学力向上策

歯科大学・歯学部間の競争的環境を踏まえ、オープンキャンパスを複数回開催する。

②在校生の学力向上(CBT実力の向上)

共用試験(CBT、OSCE)への対応を充実させる。

③卒業資格(学士I、II)試験の合格基準の引き上げ

教務部委員会での検討を進める。

2. 在学生の態度規範向上

学生に本学の建学の精神、教育方針、アドミッションポリシーを一層浸透させ、歯科医師として社会に貢献し奉仕する使命感と気概、専門的知識、技能、態度を修得するために着実な努力、国際的な視野に立って、歯科医学の発展と歯科医療を担う学生を育成する。

3. 学生からの教員授業評価

授業の改善に反映させ、教育の質の向上に有益であるとの観点から、その導入をめざしていく。

4. 学舎—教員移動環境を改善の検討

学舎間移動が、教育・研究・診療の負担となっていることがあり、改善の方策を検討していく。

5. その他の新規事業(大学学部)

- ・入学者確保対策
- ・麻疹対策
- ・試験問題作成支援経費
- ・教員研修会

II-b. 教学-研究(大学・大学院)

1. 教育・研究を支える教職員人材の育成

従来からのFDの一層の充実をはかる。また、SDを全職員に暫時実施すべく検討していく。

2. 教員(助教)採用基準を厳格に順守

教員任用規程の見直しを行い、教授・准教授へのキャリアパスとしての助教の採用基準を厳格化していく。

3. 任期制の更新採否を厳正化

教員の任期に関する規程により、任期制教員の更新採否を厳格化する。

4. 海外留学等の奨励と帰国後の受け入れ支援

中国 5口腔医学系大学、オーストラリア シドニー大学、アメリカ コロンビア大学、韓国 慶熙大学校歯科大学との交流を積極的に推進していく。

5. 科学研究費補助金等の申請を義務づけ

各大学間で競争的資金の獲得が急務となっている現状から、本学においても全教員に科学研究費補助金の申請を義務づけ、研究資金の充実に努める。

6. その他の新規事業—大学院

- ・大学院生支援事業(奨学金制度)
- ・大学院生支援事業(TA制度)
- ・ポストドクター事業
- ・知的財産取得規程の運用事業
- ・大学院修士課程予備調査事業
- ・中央歯学研究所の紀要作成費

III. 附属病院

1. 「新病院情報システム」の導入と円滑運用

平成20年1月から導入された新病院情報システムの運用により、一層の診療効率化を図る。

2. 財政改善を基盤とする病院機構改革案

3. 「先進医療制度(資格取得)」の積極申請

4. 「附属病院財務改善検討委員会」答申による病院財務の改革

IV. 教員組織改正に伴う対応

平成19年4月から本学の教員組織は、教授・准教授・講師・助教としたことにより、教育・研究の専念義務の自覚を高める施策を行う。

1. 教員評価「教員評価委員会規程」の制定
2. 教員任期制・・・全教員への適用を検討する。

V. 情報化、IT化、市民との交流への対応

- 1. 平成19年度事業計画を充実、推進する。
サイバーキャンパス、ホームページによる情報発信の充実を通じて、多方面への有効利用を図る。
公開講座を開講し、市民の健康保持のための啓蒙を行う。
- 2. その他の新規事業—図書館
図書館システムのリプレイスにより、サービスの向上を目指す。
(例)
・携帯サービス(開館日、開館時間案内、利用状況紹介など)の開始
・雑誌蔵書検索結果から電子ジャーナルへのダイレクトリンクの実現

VI. 両専門学校の将来像

- 1. 「専門学校財政改善等検討委員会」へ付託
平成20年度は、歯科技工士専門学校、歯科衛生士専門学校の将来像を検討するための調査年度と位置づけ、他校の事例収集を行う。

VII. その他の重点計画

- 1. 創立100周年記念行事の企画案
・平成23(2011)年開催
・「創立100周年記念行事企画委員会」の設置
・理事会、教授会、同窓会からの協力的体勢
従来からの記念行事のための積み立てを継続し、平成20年度中には具体事案を策定する。
- 2. 第22回日本歯科医学会総会誘致
・平成24(2012)年10月、11月開催予定である。
・21年ぶり本学が主幹校に決定した。
- 3. 3学舎(楠葉・牧野・天満橋)の管理費についての見直し、楠葉・牧野・天満橋の3学舎管理費の節減を暫時実施していく。
- 4. その他の事業—施設関係
・牧野学舎相撲場新築工事
・牧野学舎体育館アスベスト関係工事
・牧野学舎トレーニング機器整備工事
・楠葉学舎中央監視盤設備更新工事



平成 19 年度 事業報告書
(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)



大阪歯科大学は、来る平成23(2011)年に創立100周年を迎える歴史と伝統を誇る関西唯一の私立歯科総合学園であり、〈建学の精神〉と〈教育方針〉を基調として、教育・研究・診療の質的充実を図り、今日に至っている。

平成19年度事業計画においては、

- I 大学の管理・運営について
- II 教学(教育、研究)について
- III 附属病院について
- IV 教員組織の改正に伴う関連事項
- V 情報化社会、IT時代への対応について
- VI 専門学校の現状と将来像について
- VII その他の事項について

の7項目を掲げて、さらなる本学の発展を図った。

I 大学の管理・運営について

現在の一般社会、私立大学、私立歯科大学の現状を踏まえ、管理・運営について以下の施策を行った。平成19年度の予算では、人件費や事務費・設備・管理費等を含めた支出の減額を行った。

1) 給与関連規程の改正

他の私立歯科大学・歯学部を鑑み、人件費では基本給、退職金の引き下げ、諸手当の整理、定年年齢の引き下げに着手した。
給与規程、退職金規程などの給与関連規程を改正、定年規程については、平成20年4月1日から改正することとなった。(教授67歳、教員65歳、職員63歳)

2) 教員任期制と教員評価の導入

教員任期制については、「学校法人大阪歯科大学教員の任期に関する規程」を制定して、以下のとおり任期を定めた。これは、平成19年1月1日からの採用者から適用された。(施行:平成19年1月1日)

(歯学部歯学科)

- 教授 5年 再任可、准教授 5年 再任可
- 講師 5年 再任可(再任回数2回)
- 助教 5年 (再任回数2回)

(附属病院)

- 病院教授 5年 再任可
- 病院准教授 5年 再任可(再任回数2回)

病院講師 5年 再任可(再任回数2回)
病院助教 5年 再任可(再任回数1回)
「教員評価委員会規程」を制定し、導入について検討した。

3) 病院収入増につながる診療形態、機構の改革

1. 新設病院医員の活用、社会的、教育上必要な科の新設
2. 病院事務機構の改革等
附属病院の委員会である病院機構改革検討委員会、法人の委員会である病院財務改善検討委員会において検討が行われた。

4) 病院機構改革検討委員会の改革案報告

以下の4つの改革についてまとめの報告があり、平成20年度に向けて改革を続行することとなった。

- ① 高齢者歯科診療室の拡充のための移転
- ② 総合診療・診断科の設置
- ③ 特別診療室の設置
- ④ 口腔インプラントの拡充のためのチェア台数の増

5) 教育・研究・事務業務等に対する専念義務の自覚と教職員の資質向上

平成18年度に「学外兼業・開業に関する内規」を制定したことにより、教職員の職務専念義務の意識が向上した。今後、兼業について検討することとした。

6) 歯科技工士・歯科衛生士両専門学校のあり方

財務状況・入学者数等の現状を勘案し、歯科衛生士専門学校にあっては、全国の歯科衛生士専門学校が3年制に移行するまで、歯科技工士専門学校にあっては、本学の創立100周年頃までには機構改革と将来ビジョンの確立を図ることを目指す。

平成19年度中は専門学校財政改善等検討委員会において、専門学校のあり方を検討した。

7) サイバーキャンパスの整備とオープンキャンパスの試み

私立歯科大学間での競争的環境を踏まえ、サイバーキャンパス、オープンキャンパス、ホームページの強化、充実を図った。

オープンキャンパスについては、3回実施し200名を超える高校生、保護者が参加し好評を博した。また、学外ホームページを刷新し、情報発信機能の充実を行った。

8) 創立100周年記念事業について

平成23年に迎える本学100周年に向かって、平成19年度には理事会、教授会としての事業計画の具体的

立案と準備に着手し、総務部長を中心として、総務部委員会において創立100周年に向けた取り組みをまとめて教授会に報告している。理事会においては、機運を盛り上げる意味で、大学祭(体育祭・文化祭)、公開講座、大阪歯科学会・大阪歯科大学同窓会共催学術講演会をプレ事業として位置づけた。また、企画委員会において、継続して事業内容の検討を行うこととなった。

II 教学(教育、研究)について

『入試制度』

本学学部は、平成5年度から推薦入試を導入して以来、推薦入試、一般入試をそれぞれ各1回実施するとの制度で実施されてきた。

その間、我が国すべての大学を取り巻く環境は変化を遂げ、18歳人口の減少による志願者数の減少と『全入時代』の厳しい状況のもと、各大学は入学試験制度の改革を行い、入学志願者の確保に取り組んでいることは周知のことである。

本学においても、志願者減少傾向への対応として、平成20年3月期に一般試験で二次募集を実施した。

『学部教育』

学部学生に対しては、きめ細かい履修指導体制(学年指導教授・助言教員制度)を駆使し、質的に充実した教育を行った。6年一貫教育の推進の要である新カリキュラム移行後、6年間を経過したことによる良否を教務部委員会で検討し、これを基に学則改正を教授会の議を経て行った。

新入生を対象にした本学特有のインターンシップ(社会福祉体験学習)は、医療人としての心構え、ボランティア精神の高揚をめざし、大阪市社会福祉協議会の66箇所の施設で学部学生が介助、行事に参加する体験実習を行い、多様な価値観、他者との共生の意義等を育むという成果が上がっている。共用試験(CBT・OSCE)では、その成績向上のため関係委員会で継続的に検討している。

また、国家試験の合格率の向上については、第101回歯科医師国家試験では、新卒者(平成14年度入学生)の合格率は、私立歯科大学の中でも8位に位置し改善している。引き続き、将来における歯科医師としての質の向上を図るために、進級や卒業へのハードルを厳しくすることを検討している。

前年度からの新入生を対象として始めた人権教育の充実(人権論の開講)、教職員を対象とした人権講演会の開催、人権週間の取り組みなどを行った。

前年度に引き続き、クラブ活動の活性化のための支援に取り組んだ。その効果は、今年度の第39回全日本歯科学学生総合体育大会の成績が総合第3位であったことに現れている。

『大学院教育』

大学院生には、学則にある教育目標に沿い、将来の大学における教育・研究の中核になるべき自覚を持ち、努力を重ねることを求めた。

インパクトファクターの高い学術雑誌への論文公表を促すなど大学院生の質の向上を図ることをめざし、厳格な学位授与審査が実施されている。臨床系の低学年で指導教員の下、臨床と研究に携わる時間の確保にも配慮し、単位修得の状況が芳しくない学生に対しても、指導教授を中心として研究科で追加的指導を行った。

『研究』

講座研究費に頼らず、多種多様な研究助成機関への競争的資金の申請に努め、講座員の全てにおいて、科学研究費への申請を義務付けた。さらに、広く世界の専門学会からも認められるインパクトファクターの高い学術雑誌への論文公表を促した。

本年度は、研究業績評価基準の中の専門学会誌および国際誌の評価のポイントを上げるなど次年度に向けた改正を行った。

私立大学学術研究高度化推進事業(ハイテク・リサーチ・センター)に選定され、一層の研究の成果が期待されている。

Ⅲ 附属病院について

1. 専門外来の設置

本学附属病院の特色として、以下の〈専門外来〉を設置した。

「白い歯外来」、「息さわやか外来(口臭外来)」、「口腔腫瘍外来」、「顎変形症外来」、「顎関節外来」、「ドライアイ・ドライマウス外来」、「唇顎口蓋裂外来」

2. 病院理念の策定

病に悩む患者さまとともに生活の質を高めるべく教育・研究機関として、地域医療の中核病院としての充実を図ることを期している。下記のとおり附属病院2階受付ロビーに掲示した。

＜大阪歯科大学附属病院理念＞

私たちは、患者さまの病に共感し、あたたかい医療を提供します。

基本方針

- ・安心、安全な医療に努めます。
- ・良質で高度な先進的医療を提供します。
- ・口腔保健の向上に努め、健康増進と長寿に貢献します。
- ・人権を尊重し、公正な医療を行います。
- ・人間性豊かな優れた医療人を育成します。

3. 新病院情報システム

医事会計システム・オーダリング更新について、新病院情報システム導入委員会を設置して、鋭意検討のうえ、病院内でヒアリング、システムのデモを実施し、慎重に導入業者を選定した。以上の経緯を経て、平成20年1月7日から新システムにより患者受け入れがスタートした。

4. 臨床研修歯科医の養成

本事業は、平成18年度に義務化されたものであるが、病院執行部、臨床研修教育科、病院庶務課卒後研修担当が中心となって、単独型と複合型で実施した。(修了者91名)

5. 病院財務改善からみた病院機構改革

病院機構改革検討委員会では、以下の4つの改革について報告があった。

① 高齢者歯科診療室の拡充のための移転

チェア台数15台を予定とする高齢者の患者のための診療室を移転・設置する。

② 総合診療・診断科の設置

総合診療部診療科と口腔診断科を統合、名称を「総合診療・診断科」とする。

③ 特別診療室の設置

定年退職後の名誉教授、客員教授が附属病院の診療活動の活性化に資することを目的とする。

④ 口腔インプラントの拡充のためのチェア台数の増

診療ニーズに呼応し、活性化と能率化のためチェア台数を8台に増加させる。

以上については、平成20年度へ向けての継続課題としている。

6. 病院事務機構の改善

平成19年度中に検討した内容について、継続して病院機構改革検討委員会において審議を行う。

7. 病診連携を中心とした地域への広報活動の推進

前年度に引き続き、近隣の大手前病院等との連携を推進した。さらに、紹介医院や診療所等との連携をより密にし、本学附属病院がホスト役として、患者さまを紹介頂いた病院、医院、診療所などを対象に講演会と懇談会を開催した。

8. 附属病院としての情報発信

附属病院のホームページを適時更新し、最新情報を掲載することを心掛けた。

IV 教員組織の改正に伴う関連事項

学校教育法の改正により、平成19年4月1日から教員組織を改め、教授・准教授・講師・助教の新職制に移行した。

特に助教は、従来の助手とは職責において大きく異なり、教授・准教授へのキャリアパスとしての位置づけがなされ、自主的研究・研究指導・講義等も行い得るため、職制移行した助教ならびに新規採用助教には、各種審査と学位の取得(未取得者は期限付きで取得する)と新規採用者の任期制(5年任期で再任(再任回数2回まで))等を取り入れた。

任期制については、「学校法人大阪歯科大学教員の任期に関する規程」が平成19年1月1日に施行され、1月以降に採用された教員に平成19年4月1日から適用されている。

平成19年12月12日付で「大阪歯科大学教員評価委員会規程」を制定し、全教員を対象とした教員評価の実施に向けて、本格的な審議が開始された。

V 情報化社会、IT時代への対応について

サイバーキャンパス・ホームページ審議委員会を設置し、学生のニーズに合わせた授業の展開を検討した。本学会員である私立大学情報教育協会との連携を図り、大学間での教育、研究の情報交換を行った。

本年度は、オープンキャンパスを7月、8月、11月の3回実施した。高校生、保護者など参加者数は216名であり、模擬講義、在学生の学生生活紹介、入試説明などを行っ

た。

ホームページをリニューアルしたことにより、“本学の現在”についてのホットな情報提供を行い、ステークホルダーのニーズに応える環境を整備した。

VI 専門学校の現状と将来像について

本学の併設校として、歯科技工士・歯科衛生士両専門学校は、今日に至るまで医療人養成には一定の社会的評価を受けてきた。しかしながら、18歳人口の減少と専修学校の受験生離れという社会状況のあおりを受け、長年厳しい財政状況に晒されることを余儀なくされてきた。

そこで、理事会に専門学校財政改善等検討委員会を設置し、まず、歯科技工士専門学校の今後のあり方について検討を重ね、平成19年4月から1学年の定員90名を45名に変更し、さらにカリキュラムの充実を図るとともに、担当教員の陣容を小規模に再編成した。

引き続き、委員会では両専門学校の今後のあり方について、短期大学、大学への改組転換を含めた新しい構想に基づいた道を審議した。その結果、次年度以降に向けて現状の教育を維持しながら、一方で、十分な予備調査による資料収集を行い、改組転換への展望を開くこととなった。

VII その他の事項

『図書館の充実』

本学の教育及び学術研究の目的を達成するため、図書整備、公私立図書館コンソーシアムへの参加、データベースの提供など適正な整備に尽力した。特に、Webによる情報提供サービス、電子ジャーナルの充実を図った。また、開館時間の延長により、日々の最終授業終了後も長時間利用可能となり、学生の学習に大いに寄与し、結果的に今回の歯科医師国家試験の向上にもその効果が現れた。

『国際交流』

中国との協定締結5大学の研究者を受入れた他に、コロンビア大学、シドニー大学との学生交流も行われた。シドニー大学に対しては、本学の3、4年生が訪問し、大いに見聞を広めた。また、これまでの本学の国際交流の沿革をまとめた『大阪歯科大学国際交流のあゆみと展望』を刊行した。

『地域住民との交流』

今回で第15回を迎えた平成19年度公開講座は、メインテーマを『知りたい最新歯科治療』と題して、入れ歯、

インプラント、小児・障害者歯科、歯周病などをわかりやすく講演した。学内施設(テニスコート、グラウンド、学内食堂、講堂)を開放した他、学園祭には多くの地域市民が参加し、盛大に行われた。

『ファカルティ・ディベロップメント』

教育者としての教員の資質向上を目指し、「カリキュラムプランニングのためのワークショップ」、「学生生活指導に関する講演ならびに事例発表」(講師:文化女子大学理事 濱田勝宏教授)、「歯学系CBT試験問題ブラッシュアップ」の3回のFDを開催し、多数の教員が出席した。

『教育セミナー』

教員研修の一環として、東京歯科大学副学長の井出吉信教授を講師に迎え、「東京歯科大学における学生の教育指導について」と題するご講演をいただいた。

当日の参加者数は110名であり、学生に対する教育指導の参考となったとの好評を博した。

『本学創立100周年記念事業』

理事会に創立100周年記念行事企画委員会をすでに設置している。平成19年度は大学祭(体育祭、文化祭)、公開講座、大阪歯科学会・大阪歯科大学同窓会共催学術講演会について、プレ創立100周年記念事業として開催した。

『本学の施設・設備の整備』

楠葉、牧野、天満橋の3学舎の施設や整備等に関するマネージメントについて、平成19年度は、楠葉・牧野学舎の管理費に関して、経費削減への取り組みを行い、実効を挙げた。平成20年度は、天満橋学舎に対する管理費削減をめざすものとする。

『大学基準協会の大学評価・認証評価結果』

本学は、財団法人大学基準協会から平成20年3月11日付で「評価の結果、貴大学は本協会の大学基準に適合していると認定する。認定の期間は2015(平成27)年3月31日までとする。」との大学評価・認証評価結果を受けた。

協会からは、詳細な『大阪歯科大学に対する大学評価結果ならびに認証評価結果』が通知されている。内容は、上記の評価結果に加えて、本学への総評、長所の伸張と問題点の改善に向けての取り組み、大学に対する提言、助言に分かれて述べられている。

(本学の長所として特記すべき事項の概要については、本誌8ページの記事を参照のこと)

1. 平成19年度学生数 (平成19年5月1日現在)

大学 第1学年	133(53)	大学院 第1学年	18(4)
第2学年	125(47)	第2学年	7(2)
第3学年	127(51)	第3学年	25(10)
第4学年	125(48)	第4学年	25(8)
第5学年	127(57)		75(24)
第6学年	151(55)		
	788(311)		

歯科技工士専門学校 1年	24(5)	専攻科1年	9(3)
2年	43(6)	専攻科2年	8(3)
	67(11)		17(6)

歯科衛生士専門学校 1年	37(37)		
2年	39(39)		
3年	31(31)		
	107(107)		()は女子

2. 第100回歯科医師国家試験の結果

平成19年3月28日合格発表

		受験者数	合格者数	合格率(%)
(総数)	本学	164	100	61
	全国	3,200	2,375	74.2
(新卒)	本学	118	82	69.5
	全国	2,580	2,087	80.9
(既卒)	本学	46	18	39.1
	全国	620	288	46.5

3. 第101回歯科医師国家試験の結果

平成20年3月27日合格発表

		受験者数	合格者数	合格率(%)
(総数)	本学	180	112	62.2
	全国	3,295	2,269	68.9
(新卒)	本学	118	90	76.3
	全国	2,487	1,948	78.3
(既卒)	本学	62	22	35.5
	全国	808	321	39.7

4. 平成19年度入学試験状況

[大学]	(志願者)	(合格者)
推薦入試	49	28
一般入試	316	100
[大学院] 一次	16	16
二次	1	1
三次	1	1

5. 平成18年度会計実査 平成19年4月5日(木)

6. 大学・大学院入学式

平成19年4月9日(月)午前10時(於:楠葉学舎)

7. 平成19年度大学新入生研修会

平成19年4月12日(木)午前9時(於:牧野学舎)

4月13日(金)午前9時(於:楠葉学舎)

8. 大学特待生の採用

10名が採用され、授業料の半額を免除

9. 大学学内奨学生選考

20名の学生に対して総額21,190,000円の奨学金を貸与

10. 平成19年度教職員子弟の大学授業料減免

10名減免 計10,000,000円

11. 平成18年度監事監査 平成19年5月10日、11日

(於:楠葉学舎)

12. 解剖体慰霊祭 平成19年5月24日(木)午後2時

(於:四天王寺)

13. 平成19年度共用試験歯学系CBT並びにOSCE

CBT 平成19年6月5日(火)午前9時

(於:楠葉学舎)

OSCE 平成19年6月10日(日)午前10時

(於:天満橋病院)

14. 大学父兄会・共済会総会

平成19年6月30日(土)午後1時 父兄287名が出席

(於:楠葉学舎)

15. 全日本歯科学生総合体育大会壮行会

平成19年7月14日(土)午後1時(於:楠葉学舎)

16. 平成20年度臨床研修歯科医の募集定員

単独型研修方式60名、複合型研修方式110名

17. 第39回全日本歯科学生総合体育大会

(当番校:松本歯科大学)

平成19年7月27日(金)～8月12日(日)

本学は第3位

18. オープンキャンパス (於:楠葉学舎)

第1回 平成19年7月27日(金)午後1時～午後4時

95名参加

第2回 平成19年8月27日(月)午後1時～午後4時

70名参加

第3回 平成19年11月3日(土)午前11時～正午

午後1時～午後3時 51名参加

19. 平成19年度FD研修会

平成19年8月17日(金)、18日(土) 出席者数45名

(於:コスモスクエア国際交流センター)

平成20年2月22日(金)、23日(土) 出席者数50名

(於:SEI生駒セミナーハウス)

20. 第15回公開講座

・メインテーマ 「知りたい最新歯科治療」

－8020運動」支援病院としての取り組み－

・日程 天満橋講座

平成19年8月18日、25日、9月1日、8日

受講者延べ331名(於:天満橋病院)

枚方講座

平成19年2月16日、23日、3月1日、8日

受講者延べ587名(於:楠葉学舎)

(時間はいずれも午後2時～4時)

21. 平成19年度地方父兄会(京滋地区(京都・滋賀))

平成19年8月25日(土)午後1時 出席者数27名

(於:ウェスティン都ホテル京都)

22. 平成19年度備品調査 平成19年8月28日、29日

23. 第6学年父兄会
平成19年9月15日(土)午後1時 父兄出席者数84名(於:楠葉学舎)
24. 故 今井 久夫 理事長・学長大学葬
平成19年9月16日(日)
学生・教職員、同窓生、国公立歯科大学・歯学部代表者、関係学会、
各歯科医師会、外部団体関係者848名参列
25. 実験動物慰霊祭
平成19年9月18日(火)午後2時40分(於:牧野学舎)
26. 平成19年度大学祭(テーマ:DISCOVERY)
体育祭 平成19年10月28日(日) (於:牧野学舎)
文化祭 平成19年11月 3日(土)
4日(日) (於:楠葉学舎)
27. 平成19年度自衛消防訓練
楠葉学舎 平成19年11月15日
牧野学舎 平成19年11月15日
天満橋学舎 平成19年11月26日
28. 平成20年新年互礼会
平成20年1月4日(於:楠葉学舎)
29. 平成19年度定年退職最終講義
中村教授 平成20年2月16日(土)午後2時30分～
(於:楠葉学舎)
井上教授 平成20年2月16日(土)午後4時30分～
(於:楠葉学舎)
30. 平成19年度解剖体遺骨返還式
平成20年3月6日(木)午後1時 23体
(於:楠葉学舎)
31. 平成19年度大学評価ならびに認証評価の認定
(財団法人 大学基準協会) 平成20年3月11日
32. 平成19年度卒業式並びに大学院学位認証式
平成20年3月14日(金)午前10時(於:楠葉学舎)
33. 学位授与
学位記番号 甲第 590号～ 615号
26名に学位記授与
学位記番号 乙第1493号～1505号
13名に学位記授与
34. 平成19年度法人理事会・法人評議員会・教授会・大学院研究科会議
1) 法人理事会 18回開催
(平成19年4月26日、5月22日、5月28日(2回)、
6月28日、7月26日、8月18日、8月27日、9月6日、
9月27日(2回)、10月25日、11月29日、12月27日、
平成20年1月24日、2月28日、3月31日(2回))
2) 法人評議員会 3回開催
(平成19年5月28日、9月27日、平成20年3月31日)
3) 教授会 19回開催
(平成19年4月11日、5月9日、6月13日、6月27日、
7月11日、8月8日、8月22日、9月12日(2回)、
10月10日、10月24日、11月14日、12月12日、
平成20年1月9日、1月31日、2月12日、3月5日、
3月17日、3月28日)
4) 大学院研究科会議 12回開催
(平成19年4月25日、5月23日、6月27日、7月25日、
8月29日、9月26日、10月24日、11月28日、12月26日、平成20年1月23日、2月27日、3月26日)
35. 本学関係 叙勲の受章者
専門29回 太田 義邦 京都府 瑞宝中綬章 共12名
36. 教職員数(平成20年3月1日現在:415名)
1) 大学 394名
教員数 207名
学長(兼教授)1名、教授26名、准教授27名、
講師48名、助教78名、病院教授5名、
病院准教授8名、病院講師9名、病院助教6名
職員数 187名 事務・技術80名、医療103名、
労務4名
2) 歯科技工士専門学校 10名
教員8名、事務2名
3) 歯科衛生士専門学校 11名
教員8名、事務3名

37. 人事

1. 名誉教授称号授与 川本 達雄
2. 就任
 - 1) 学長 有歯補綴咬合学講座 教授 川添 堯彬
(平成19年10月1日付)
 - 2) 法人役員(平成19年10月25日付)
理事長 川添 堯彬
理事 田中 昭男 (教学兼人事担当)
 - 3) 法人評議員
岩井 康智(平成19年4月1日付)
川添 堯彬、池尾 隆 (平成19年11月29日付)
3. 退任・退職
 - 1) 退任
理事 中村 正明、井上 宏
評議員 矢尾 和彦
 - 2) 退職
 - ① 定年退職
歯科理工学講座 教授 中村 正明 共 6名
 - ② みなし定年退職
口腔病理学講座 講師 魚部 健市 共16名
 - ③ 依願退職
薬理学講座 助教 増田 吉彦 共17名
 - ④ 死亡退職
理事長・学長 今井 久夫
(平成19年8月16日付)
4. 昇任
歯科矯正学講座 教授 松本 尚之 共16名
5. 任用
化学教室 助教 牧田 佳真 共34名
6. 職制移行に伴う任用
倫理学教室 准教授 樫 則章 共130名
7. 出向解除
口腔外科学第二講座 助教 山本 浩貴
8. 所属異動
病院事務局 事務長 東野 隆 共20名
9. 兼務
総務課広報担当 課長 種坂 隆志 共 3名
10. 委嘱
 - 1) 本学歯科衛生士専門学校校長
矢尾 和彦 客員教授

2) 客員教授

大阪歯科大学歯科技工士専門学校 名誉校長
玉置 敏夫 共 10名

3) Visiting Professor

大韓民国慶熙大学校歯科大学
教授 朴 榮國 共 8名

4) 平成19年度講師(非常勤)

解剖学講座 古原 英男 共419名
平成19年度大学院講師(非常勤)
口腔解剖学 朱 成淑 共 44名
(平成19年4月1日現在)

5) 大学役職者

副学長	川添 堯彬
副学長	中村 正明
総務部長	神原 正樹
教務部長	中村 正明(兼任)
学生部長	大東 道治
図書館長	堂前 尚親
附属病院病院長	井上 宏
大学院研究科科长	田中 昭男
中央歯学研究所所長	大浦 清
教育情報センター所長	豊田 紘一
国際交流部長	諏訪 文彦
附属病院副病院長	覚道 健治
附属病院副病院長	小谷順一郎
附属病院副病院長	小正 裕

(以上 平成19年4月1日付)

6) 嘱託 医療法人稲門会 岩倉病院 精神科医
森 悦子 共 11名

7) 病院医員 歯内治療科 金子 真弓 共51名

8) 各種委員会委員

① 大学関係

総務部委員会 委員長 神原 正樹、委員10名
教務部委員会 委員長 中村 正明、委員 8名
学生部委員会 委員長 大東 道治、委員 6名
カリキュラム委員会委員長 福島 久典、委員 8名
臨床実習連絡委員会 委員長 中村 正明、
委員 各講座より1名(内科、耳鼻科除く)
ブラッシュアップ委員会 委員長 林 宏行、
常任委員 7名、委員19名、顧問 2名
共用歯学CBT委員会 委員長 西川 泰央、
委員26名

図書館運営委員会委員長
堂前 尚親、委員 5名

図書資料選択委員会
委員長 堂前 尚親、委員30名

教育情報センター管理運営委員会
委員長 豊田 紘一、委員16名

学術研究奨励助成金交付審査委員会
兼 共同研究助成審査委員会
委員長 田中 昭男、委員 4名

国際交流部委員会
委員長 諏訪 文彦、委員 5名

廃棄物処理委員会
委員長 神原 正樹、委員 7名

健康管理委員会
委員長 堂前 尚親、委員 9名

公開講座委員会
委員長 小正 裕、委員 9名

組換えDNA実験安全委員会
委員長 福島 久典、委員 7名

ヒトゲノム遺伝子解析研究倫理審査委員会
委員長 田中 昭男、委員 9名

動物実験委員会
委員長 西川 泰央、委員10名

医の倫理委員会
委員長 覚道 健治、委員 8名

FD委員会
委員長 森田 章介、委員 7名

セクシュアル・ハラスメント防止委員会
委員長 川添 堯彬、委員 4名

サイバーキャンパス審議委員会
委員長 神原 正樹、委員13名

ホームページ委員会
委員長 神原 正樹、委員13名

大学院委員会
委員長 田中 昭男、委員 7名

中央歯学研究所委員会
委員長 大浦 清、委員10名

学内食堂管理運営委員会
委員長 大東 道治、委員11名

共用歯学OSCE実行委員会
委員長 山本 一世、
副委員長 米谷 裕之、委員15名

教員評価委員会
委員長 川添 堯彬、委員 7名

②法人関係

財務企画委員会
委員長 川添 堯彬

財務企画委員会病院の運営に関する事項部会
部会員 1名

退職資金管理運営委員会
委員長 新田 孟、委員 6名

業者登録選考委員会
委員 1名

学術研究奨励基金管理運営委員会
委員長 田治米保夫、委員 4名

環境管理委員会
委員長 井上 宏、委員10名

枚方資料センター管理運営委員会
委員長 井上 宏、委員 1名

予算委員会
委員長 田治米保夫、委員15名

人事委員会
委員長 新田 孟、委員12名

自己点検運営委員会
委員長 川添 堯彬、委員 9名

自己点検実施委員会
委員長 川添 堯彬、委員 3名

ODUウェルネス・ホール管理運営委員会
委員長 井上 宏、委員 1名

大阪歯科大学創立100周年記念行事企画委員会
委員長 川添 堯彬、委員 1名

広報委員会
委員 1名

人権啓発推進委員会
委員長 川添 堯彬、委員18名

個人情報保護委員会
委員長 川添 堯彬、委員16名

個人情報保護委員会大学部門委員会
委員長 豊田 紘一、委員11名

個人情報保護委員会病院部門委員会
委員長 覚道 健治、委員 9名

個人情報保護委員会事務部門委員会
委員長 中村 廣志、委員 9名

大阪歯科大学附属病院財務改善検討委員会
委員長 田治米保夫、
副委員長 村上 勝、委員 9名

9) 学年指導教授並びに助言教員
学年指導教授
1年(133名)池尾 隆、2年(125名)川合進二郎

3年(127名)西川 泰央、4年(125名)森田 章介
5年(127名)山本 一世、6年(151名)清水谷公成

助言教員

1年 隈部 俊二 共6名、2年 内橋 賢二 共6名
3年 武田 昭二 共6名、4年 三宅 達郎 共6名
5年 高津 兆雄 共6名、6年 高橋 一朗 共6名

38. 学外活動

1) 教授海外視察

生物学教室 教授 川合進二郎

2) 教員海外研修

口腔解剖学講座 助教 中塚美智子 共3名

3) 教員海外出張

口腔外科学第二講座 教授 覚道 健治 共76件

4) 教員学外派遣

高齢者歯科学講座 講師 伊崎 克弥(継続)
共26件

5) 平成19年度シドニー大学歯学部訪問及び研修

参加者3名(第3学年1名、第4学年2名)

6) 外国人共同研究員受入

李 江(教授)

7) 国際交流

① 学長関連

・川添副学長 他2名

(期間:平成19年8月30日～9月1日)

四川大学華西口腔医学院創立100周年に出席

・川添学長 他2名

(期間:平成19年11月7日～11月9日)

第11回中国国際口腔器材展覧会

医学術フォーラムに出席

② 中国五大学との共同研究

・受入

北京大学口腔医学院 1名

(期間:平成19年9月25日～10月16日)

西安第四軍医大学 1名

(期間:平成19年9月25日～10月16日)

四川大学口腔医学院 2名

(期間:平成19年9月25日～10月 4日)

・派遣

南方医科大学

(期間:平成19年10月30日～11月8日)

口腔解剖学講座 岩井教授、相川助教

上海交通大学口腔医学院

(期間:平成19年10月30日～11月5日)

高齢者歯科学講座

小正教授、岡崎准教授、川本助教

・その他

西安第四軍医大学より朱座華副学長 他6名本学

表敬訪問(平成19年11月26日)

③ コロンビア大学歯学部学生の受入

Stavan Patal 他4名

(期間:平成19年7月20日～7月28日)

39. 補助金・助成金

1) 平成19年度大阪歯科大学学術研究奨励助成金

交付(7件)

助成金交付額 3,500,000円

2) 平成19年度科学研究費補助金交付(文部科学省)

・基盤研究(B) 1件

・基盤研究(C) 19件

・萌芽研究 1件

・若手研究(B) 13件

・若手研究(スタートアップ) 5件 計39件

補助金交付額 62,600,000円

(間接経費 9,900,000円 合計 72,500,000円)

3) 平成19年度私立大学等経常費補助金交付額

447,547,000円

4) 平成19年度私立学校施設整備費補助金(私立学校教育研究装置等施設整備費(私立大学・大学院等教育研究装置施設整備費))交付額

24,236,000円

5) 平成19年度臨床研修費等補助金交付額

142,088,000円

6) 国際交流助成

口腔解剖学講座 助教 相川 文子 共32名に対し

7,267,000円の助成

7) 寄贈 川本 達雄 名誉教授 共9件合計として

4,500,000円

40. 諸規程

1) 学校法人大阪歯科大学事務組織及び

事務分掌規程(一部改正)

2) 学校法人大阪歯科大学事務組織表(一部改正)

3) 学校法人大阪歯科大学職制規程(一部改正)

- 4) 大阪歯科大学附属病院病院教員規程(一部改正)
- 5) 大阪歯科大学臨床授の称号付与に
関する規程(一部改正)
- 6) 大阪歯科大学大学院歯学研究科専攻科
教員任用規程(一部改正)
- 7) 大学院教員の資格条件に関する
申し合わせ事項(一部改正)
- 8) 教員退職時の特別昇進に関する内規(一部改正)
- 9) 大阪歯科大学客員教員規程(一部改正)
- 10) 学校法人大阪歯科大学嘱託規程(一部改正)
- 11) 大阪歯科大学附属病院病院医員就業規則(施行)
- 12) 学校法人大阪歯科大学給与規程(一部改正)
- 13) 昇給・降給に関する取扱細則
(旧昇給に関する取扱細則)(一部改正)
- 14) 昇格・降格に関する取扱細則(一部改正)
- 15) 学校法人大阪歯科大学退職金規程(一部改正)
- 16) 学校法人大阪歯科大学旅費規程(一部改正)
- 17) 大阪歯科大学及び大阪歯科大学大学院における
教育研究予算執行規程
- 18) 学校法人大阪歯科大学人権啓発推進委員会規程
(一部改正)
- 19) 大阪歯科大学大学院学則(一部改正)
- 20) 大阪歯科大学大学院歯学研究科規程(一部改正)
- 21) 大阪歯科大学教務部委員会規程(一部改正)
- 22) 大阪歯科大学カリキュラム委員会規程(一部改正)
- 23) 大阪歯科大学公開講座委員会規程(一部改正)
- 24) 大阪歯科大学共用歯学CBT委員会規程(施行)
- 25) 大阪歯科大学共用歯学OSCE実行委員会規程
(施行)
- 26) 大阪歯科大学学長候補者選考規程(一部改正)
- 27) 准教授の選出に関する申し合わせ事項
(旧助教授の選出に関する申し合わせ事項)
(一部改正)
- 28) 名誉教授称号授与に関する規程(一部改正)
- 29) 大阪歯科大学における科学研究費補助金
直接経費の使用取決(一部改正)
- 30) 大阪歯科大学学則の一部改正
(平成19年4月1日改正)に伴う関係規程
等の整備に関する規程(施行)
- 31) 大阪歯科大学附属病院規程(一部改正)
- 32) 院内感染防止委員会規程(一部改正)
- 33) 大阪歯科大学附属病院治験審査
委員会規程(一部改正)
- 34) 病棟管理運営委員会規程(一部改正)
- 35) 大阪歯科大学附属病院
インфекションコントロールチーム要項(一部改正)

- 36) 研修医(非常勤)規程
(旧非常勤研修医規程)(一部改正)
- 37) 大阪歯科大学歯科衛生士専門学校学則(一部改正)
(以上 平成19年4月1日付)
- 38) 学校法人大阪歯科大学専門学校
教員任用規程(一部改正)
(平成19年6月28日付)
- 39) ブラッシュアップ委員会規程(施行)
- 40) 大阪歯科大学動物実験規程(施行)
- 41) 大阪歯科大学動物実験委員会規程(一部改正)
(以上 平成19年7月1日付)
- 42) 大阪歯科大学科学行動規範に関する規程(施行)
(平成19年7月25日付)
- 43) 大阪歯科大学教員任用規程(一部改正)
(平成19年8月27日付)
- 44) 大阪歯科大学知的財産取扱規程(施行)
(平成19年9月27日付)
- 45) 大阪歯科大学公的研究費の
取扱に関する規程(施行)
(平成19年10月25日付)
- 46) 大阪歯科大学教員評価委員会規程(施行)
(平成19年12月12日付)
- 47) 大阪歯科大学大学院歯学研究科博士(歯学)
学位授与申請予備審査規程(一部改正)
(平成19年12月26日付)
- 48) 専門学校財政改善等検討委員会規程(一部改正)
- 49) 大阪歯科大学学則(一部改正)
(以上 平成19年12月27日付)
- 50) 大阪歯科大学ホームページの運用・管理規則(施行)
(平成20年1月31日付)

収支決算

平成19年度収支決算は後日、本学ホームページ <http://www.osaka-dent.ac.jp/> に掲載予定である。

監事監査

平成20年5月の評議員会、理事会で承認された平成19年度決算及び監事監査報告書は、本学ホームページ <http://www.osaka-dent.ac.jp/> に掲載予定である。

大阪歯科大学 故今井久夫 前理事長・学長
他2先生に叙位・叙勲が授与される

このほど、故 今井久夫 前理事長・学長、故 覺道幸男 名誉教授及び故 山岡昭 名誉教授にそれぞれ正五位が授与され、ご家族の方々に伝達が行われた。また、今井前理事長・学長には併せて瑞宝中綬章が授与された。



左から田中教授、川添理事長・学長、今井徳子先生(故今井理事長・学長ご令室)、上田教授

故 今井 久夫 前理事長・学長

- (出身地) 大阪
- (出身最終学校) 大阪歯科大学
- (卒業年次) 昭和38年
- (受章日) 平成19年8月16日
- (叙位・叙勲の内容) 正五位・瑞宝中綬章
- (主な経歴) 前理事長・学長・名誉教授
- (閣議決定) 平成20年8月15日

故 覺道 幸男 名誉教授

- (出身地) 大阪
- (出身最終学校) 大阪歯科大学医学専門学校
- (卒業年次) 昭和22年
- (受章日) 平成20年5月29日
- (叙位・叙勲の内容) 正五位
- (主な経歴) 名誉教授・元図書館長
元大学院研究科長
- (閣議決定) 平成20年6月27日

故 山岡 昭 名誉教授

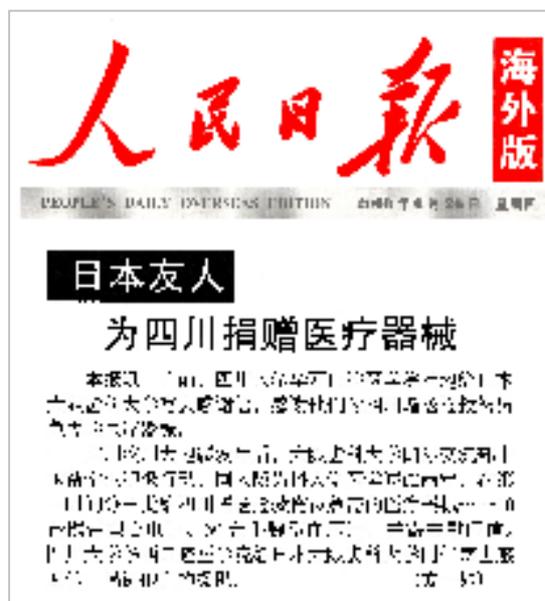
- (出身地) 奈良
- (出身最終学校) 大阪歯科大学医学専門学校
- (卒業年次) 昭和23年

- (受章日) 平成20年7月26日
- (叙位・叙勲の内容) 正五位
- (主な経歴) 名誉教授・元附属病院長
- (閣議決定) 平成20年8月22日

四川大学華西口腔医学院に
四川大地震支援物資を寄贈

平成20年5月12日に発生した四川大地震は、中国・四川省に甚大なる被害をもたらしたが、本学は、中国提携5大学のひとつである四川大学華西口腔医学院(四川省成都)に対して、お見舞い電報を送るとともに、支援物資として血圧計30台、心電図計20台を寄贈した。

この本学の対応は、中国の「人民日報」、「中日新報」に取り上げられた。



平成20年度解剖体慰霊祭

5月16日(金)午後2時から、四天王寺本坊(五智光院)にて、解剖体慰霊祭が厳かに執り行われた。開式の後、解剖学講座の諏訪教授から祭文の奉読、導師の読経が始まり、尊いご遺体の御霊に対して、参列者一同焼香を行った。本学を代表し、川添理事長・学長から、歯科医学の教育・研究発展のためにご献体故人ならびに黄菊会会員各位に謝意があり、続いて文部科学大臣感謝状が献体者ご遺族に対して授与された。学生を代表し、第3学年細山有規子さんが感謝のことばを霊前に寄せ、参列した学生全員が立礼を行った。

父兄会・共済会総会開催

6月28日(土)午後1時から、平成20年度父兄会・共済会が本学楠葉学舎講堂において父兄会・共済会が開催された。当日の総会には、276名のご父兄が出席、沖田前幹事長、江原新幹事長、川添学長の挨拶の後、諏訪学生部長から学内報告が行われた。さらに、平成19年度父兄会・共済会決算報告、平成20年度予算案の報告があり、承認された。上記総会終了後の学年別個人懇談会では、学年指導教授ならびに助言教員からご子弟の学修状況、生活指導等について、時間の許す限り父母からの相談を受けた。

平成21年度 大学入学試験の概要 一入試要項及び学納金の引き下げ

本学は、このほど平成21年度入学試験要項を決定し、合わせて学納金の引き下げを行った。新たに一般入試を前期・後期に区分し実施することにより、受験機会の複数化と入学志願者確保を狙いとし、「授業料を大幅に減額し学力、教育力を向上させ 温かい人間性を涵養する」との基本方針の下に様々の工夫・改善の一環である。入学試験の実施日、募集人員は以下のようになっている。

・推薦入学試験

試験日 平成20年11月29日(土)
募集人員 18名(前年度募集28名)

・一般入学試験前期日程

試験日 平成21年2月3日(火)
募集人員 100名(前年度募集100名)

・一般入学試験後期日程

試験日 平成21年3月14日(土)
募集人員 10名

一般入学試験の試験日程について、受験者の負担軽減を図るため学力試験時間の短縮などの工夫を行い、これまでの2日の日程から1日に短縮した。試験方法の大きな変更はないが、面接について、これまでの個人面接の形式から数名によるグループ討論の形式に変更した。

本学学納金(学費)については以下のとおり改定した。

Table with 2 columns: Fee Category and Amount. Rows include: 入学金(入学時のみ) 600,000円(変更なし); 教育充実費(入学時のみ) 3,900,000円(変更前5,900,000円); 授業料(年額) 3,800,000円(変更前4,000,000円); 施設維持費(年額) 700,000円(変更前1,500,000円); 入学時学納金納入額(入学金、教育充実費、授業料前期分、施設維持費前期分の合計額) 6,750,000円(変更前9,250,000円); 6年間学納金納入総額 31,500,000円(変更前39,500,000円)

(詳しくは、大阪歯科大学ホームページ http://www.osaka-dent.ac.jp/ に掲載している。)

五つの力（りょく）の目標

本学は、このほど「五つの力の目標」を制定した。

五つの力（りょく）の目標

- 一、募集ブランド力の回復
- 一、学力の向上
- 一、教育力の向上
- 一、人間性涵養力への注力
- 一、教育人材育成力への注力

平成 20 年 6 月吉日

これは、平成23(2011)年に迎える創立100周年にあたり、様々な改革を行っていく機運を高める契機として、川添理事長・学長が発案したものである。

近年、社会が歯科医師に求めているものは、優れた技術のみではなく、患者さんへの思いやりや温かな心を持った人間像である。

ここに掲げられた五つのどれひとつ欠けても上記に述べた社会が求めている歯科医師とならない。本学の伝統ある優れた《建学の精神》の内容に加えて、より一層の向上目標として、また、本学改革の要(かなめ)として、今回の《五つの力の目標》の制定された意義は大きいといえる。

本学副学長 神原正樹 教授
FDI（世界歯科医師連盟）Council（理事会）
メンバーに就任

本学副学長で、国際交流部長の神原 正樹教授(口腔衛生学講座)が、平成20年9月26日に開催されたFDI (Federation of Dental International ; 世界歯科医師連盟)総会にて、選挙により同連盟のCouncil (理事会)メンバーに当選した。



神原先生は、これまで3年間FDIの Science Committee のメンバーを務めている。今回の当選は本学にとって誠に荣誉なことであり、先生のグローバルな活躍に心から敬意を表するものである。

人 事

称号授与

- 名誉教授 中村 正明
- 名誉教授 井上 宏
- 歯科衛生士専門学校名誉校長 矢尾 和彦
- 以上 H. 20. 4. 1 付

新 任

- 副学長 豊田 紘一
- 副学長 神原 正樹
- 総務部長 小正 裕
- 教務部長 田中 昭男
- 学生部長 諏訪 文彦
- 図書館長 堂前 尚親
- 附属病院病院長 覚道 健治
- 大学院研究科科长 大浦 清
- 中央歯学研究所所長 福島 久典
- 教育情報センター所長 林 宏行
- 国際交流部長 神原 正樹
- 附属病院副病院長 小谷順一郎
- 附属病院副病院長 森田 章介

ODU NEWS No.150-151

附属病院副病院長 上田 雅俊
以上 H. 20. 4. 1 付

教員採用

数学教室 講師 野田 知宣
薬理学講座 助教 森 亮一
薬理学講座 助教 石塚 智子
歯周病学講座 助教 高橋 貫之
歯科矯正学講座 助教 飯田 拓二
歯科矯正学講座 助教 永田 雄己
歯科放射線学講座 助教 秋山 広徳
口腔外科学第一講座 助教 佐野 寿哉
口腔外科学第一講座 助教 福田あおい
口腔外科学第一講座 助教 福地 和秀
口腔外科学第二講座 助教 吉本 仁
口腔外科学第二講座 助教 正重 裕一
以上 H. 20. 4. 1 付

昇任

歯周病学講座 准教授 高津 兆雄
H. 20. 3. 1 付
口腔外科学第一講座 准教授 井関 富雄
歯科東洋医学室 准教授 方 一如
口腔病理学講座 講師 富永 和也
総合診療・診断科 病院講師 米田 護
以上 H. 20. 4. 1 付
歯科麻酔学講座 講師 杉岡 伸悟
H. 20. 6. 1 付

所属異動

総合診療・診断科 助教 青木 秀哲
総合診療・診断科 助教 城山 明宏
以上 H. 20. 4. 1 付

所属名変更

総合診療・診断科 病院教授 小出 武
総合診療・診断科 病院准教授 松本 晃一
総合診療・診断科 病院准教授 永目 誠吾
総合診療・診断科 病院准教授 米谷 裕之
総合診療・診断科 病院准教授 辻 一起子
総合診療・診断科 病院講師 辰巳 浩隆
総合診療・診断科 病院講師 三ヶ山茂樹

総合診療・診断科 病院講師 大西 明雄
総合診療・診断科 病院講師 米田 護
総合診療・診断科 病院助教 尾形 圭五
総合診療・診断科 病院助教 樋口 恭子
以上 H. 20. 4. 1 付

定年退職

歯科理工学講座 教授 中村 正明
欠損歯列補綴咬合学講座 教授 井上 宏
臨床研修教育科 病院教授 星野 茂
臨床研修教育科 病院教授 成川 公一
口腔外科学第一講座 准教授 虫本 浩三
耳鼻咽喉科学講座 准教授 湊川 徹
以上 H. 20. 3. 31 付

みなし定年退職

口腔病理学講座 講師 魚部 健市
歯科矯正学講座 講師 高橋 一朗
耳鼻咽喉科学講座 講師 島津 薫
歯科放射線学講座 助教 林 靖久
以上 H. 20. 3. 31 付

依願退職

臨床研修教育科 病院助教 黒川 千佳
H. 20. 3. 12 付
口腔外科学第二講座 講師 ・熊 雅彦
小児歯科学講座 講師 原 直仁
解剖学講座 助教 池 宏海
細菌学講座 助教 古川 智代
口腔外科学第一講座 助教 木下 智
歯科矯正学講座 助教 本田 領
以上 H. 20. 3. 31 付
薬理学講座 助教 中塚 隆介
口腔インプラント科 病院講師 岩田 光生
以上 H. 20. 4. 30 付
歯科保存学講座 講師 白石 充
H. 20. 5. 31 付
欠損歯列補綴咬合学講座 助教 畦崎 泰男
H. 20. 7. 31 付

大学院教員任用

大学院教授 松本 尚之

H. 20. 2. 1 付

大学院教授 諏訪 文彦, 岩井 康智
西川 泰央, 池尾 隆
田中 昭男, 福島 久典
大浦 清, 神原 正樹
山本 一世, 林 宏行
上田 雅俊, 小正 裕
川添 堯彬, 森田 章介
覚道 健治, 松本 尚之
清水谷公成, 大東 道治
小谷順一郎, 堂前 尚親

大学院准教授 藤田 淳一, 竹村 明道
内橋 賢二, 鎌田 愛子
山中 武志, 篠原 光子
武田 昭二, 三宅 達郎
吉川 一志, 馬場 忠彦
岡崎 定司, 田中 昌博
前田 照太, 中嶋 正博
古跡 孝和, 嘉藤 幹夫
佐久間泰司, 宮前 雅見

大学院講師 玉田 善堂, 隈部 俊二
合田 征司, 和唐 雅博
富永 和也, 山根 一芳
野崎 中成, 今井 弘一
川崎 弘二, 土居 貴士
白石 充, 畠 銀一郎
好川 正孝, 高津 兆雄
柿本 和俊, 兼平 治和
西崎 宏, 井関 富雄
吉田 博昭, 大西 祐一
白敷 慎也, 大東 希好
渡邊 京子, 百田 義弘
杉岡 伸悟, 澤井 宏文
戸田 伊紀, 高間 敬子
井上 博, 藤本 哲也
吉川 美弘, 堂前 英資
真下 千穂, 橋本 典也
岩田 有弘, 田 匡宏
緒方智壽子, 田口洋一郎
小野 圭昭, 楠本 哲次
柏木 宏介, 川野 晃
山本 浩貴, 西浦 亜紀

大学院助教

蓮舎 寛樹, 四井 資隆
加藤 裕彦, 長野 豊
有城久美子
以上 H. 20. 4. 1 付

職員採用

総務課総務担当	事務職員	松本 大樹
経理課	事務職員	白石 綾子
教務学生課	事務職員	東尾 麻由
庶務課	事務職員	加奥 奏哉
図書課	事務職員	白石 真弓
附属病院	看護師	山本真由美
附属病院	看護師	仲谷 亜紀
附属病院	歯科衛生士	重本 舞
附属病院	歯科衛生士	寺西 香織
	以上	H. 20. 4. 1 付
附属病院	看護師	松本 恵美
		H. 20. 8. 1 付

昇 進

歯科技工士専門学校	教務主任	松原 正治
医事課材料室	課長	西嶋 耕治
施設課附属病院中央監視盤室	室長	田中 修
附属病院 管理栄養士	主任	保田 紀子
附属病院 歯科技工士	主任	小山 和美
	以上	H. 20. 4. 1 付
総務課総務担当	主任	吉村 里美
中央歯学研究所 研究技術員	主任	堀 英明
	以上	H. 20. 5. 1 付

所属異動

病院庶務課卒後研修担当	事務職員	中原しのぶ
歯科技工士専門学校事務室	室長	池田 良則
歯科衛生士専門学校事務室	主任	赤瀬 裕子
歯科衛生士専門学校事務室	事務職員	北山恵美子
	以上	H. 20. 4. 1 付

兼 務

歯科衛生士専門学校	校長	末瀬 一彦
経理課	課長	前野 隆
歯科衛生士専門学校事務室	室長	池田 良則
	以上	H. 20. 4. 1 付

みなし定年退職

歯科技工士専門学校	教務主任	杉上 圭三
経理課	課長	堀内喜美子
医事課	主任	植松 富子
施設課	一般技術主任	小山 定夫
教務学生課	事務職員	川田伊佐子
病院庶務課卒後研修担当	事務職員	朝岡真知子
医事課	事務職員	木村 幸子
歯科技工士	歯科技工士	竹本 和司
歯科技工士	歯科技工士	西村 幸雄
歯科衛生士	歯科衛生士	南出 恭子
中央歯学研究所	動物飼育員	大友 隆
歯科衛生士専門学校	事務職員	森下より子
	以上	H. 20. 3. 31 付

依願退職

歯科衛生士専門学校	教員	藤村 昌代
附属病院	看護師	石松 恭子
附属病院	看護師	岡森 景子
附属病院	歯科衛生士	義本みどり
	以上	H. 20. 3. 31 付
附属病院	歯科衛生士	竹安 絵梨
	以上	H. 20. 4. 30 付
附属病院	看護師	山崎理恵子
		H. 20. 7. 31 付

委 嘱

客員教授	玉置 敏夫, 山下 敦 末瀬 一彦, 宇山 昌延 森 昌彦, 熊崎 護 二階 宏昌, 北條 博一 以上	H. 20. 4. 1 付
Visiting Professor	Harry L. Dougherty David R. Avery Chitta Ranjan Choudhury 金 岩 朴 榮 國 申 濟元 金 麗甲 飯塚 建行	

	顧問	以上	H. 20. 4. 1 付
		井上 宏	
		以上	H. 20. 6. 1 付
嘱託	カウンセラー	精神科医	森 悦子
嘱託	臨床心理士		畑 聡美
嘱託	医師	螺良 愛郎, 濱本由記子 前原さおり, 川口あすか 梅垣 裕, 奥田 隆彦 西村 哲哉, 木本 高志	
嘱託	歯科医師		近森 信人
		以上	H. 20. 4. 1 付
医療嘱託		清水 順一, 小椋 学 竹村 博一, 永田 基樹 土井 直, 湯川 尚哉 朝子 幹也, 高田 洋平 橋本美咲子, 美内 慎也 島野 宏一, 宗本 由美 佐伯 暢生, 泉川 雅彦 小西 将矢, 濱田 聡子	
		以上	H. 20. 4. 1 付
	口腔インプラント科		新井 是宣
			H. 20. 6. 1 付
	大学嘱託		堀内喜美子
			H. 20. 4. 1 付
	病院医員		
	保存修復科		吉松真依子, 松本 奈沙
	歯内治療科		原田 茂, 金村 香奈 窪田 歩
	歯周治療科		奥野 博人, 元臣
	高齢者歯科		河島 奈々, 小林依里子 山内 聖恵, 村田 澄子 福岡 拓郎
	補綴咬合治療科 (有歯)		大河 広伸, 田中 雅章 永尾 勝正, 鶴身 暁子
	補綴咬合治療科 (欠損)		岸保 愛子, 土居 聖 濱口 幸子, 森本 有香 應谷 直里, 岩本統望子
	口腔外科第1科		岩井 理恵, 松島 由紀 伊藤公美子, 樋口 睦記 神吉 秀典, 原田 圭
	口腔外科第2科		森 悠衣, 山田 龍男 後藤 倫子, 山田 洋正

矯正歯科 室井 悠里, 北岸 恵帆
井上 美香, 鈴木 智子
福田 千晶, 横井 依子

口腔インプラント科 大口 直輝, 阪田 俊智
角倉 毅, 谷山 智秀

小児歯科・障害者歯科 山口 傑平, 国本 絢子
吉田 聡子

臨床研修教育科 木本 旭生

総合診療・診断科 中江 知久, 松枝 正樹

歯科麻酔科 讃岐 拓郎, 布谷 陽子
石川 素子

以上 H. 20. 4. 1 付

人事委員会委員長 新田 孟

人事委員会委員 田治米保夫, 三谷 卓
豊田 紘一, 諏訪 文彦
田中 昭男, 小正 裕
覚道 健治, 田中佐和子
中村 廣志, 東野 隆
高須 聡

人事委員会オブザーバー 川添 堯彬

以上 H. 20. 4. 1 付

退職資金管理運営委員会委員長 新田 孟

退職資金管理運営委員会委員 田治米保夫, 田中 昭男
小正 裕, 覚道 健治
田中佐和子, 中村 廣志

以上 H. 20. 4. 1 付

教員評価委員会委員長 川添 堯彬

教員評価委員会委員 豊田 紘一, 諏訪 文彦
田中 昭男, 神原 正樹
小正 裕, 覚道 健治
堂前 尚親

以上 H. 20. 4. 1 付

業者登録選考委員会委員長 村上 勝

業者登録選考委員会委員 田治米保夫, 三谷 卓
伊達 洋彦, 末瀬 一彦
田中佐和子, 中村 廣志
東野 隆, 松村 誠一

大上 登

以上 H. 20. 4. 1 付

環境管理委員会委員長 覚道 健治

環境管理委員会委員 田治米保夫, 豊田 紘一
小谷順一郎, 末瀬 一彦
田中佐和子, 中村 廣志
東野 隆, 松村 誠一
種坂 隆志

以上 H. 20. 4. 1 付

自己点検運営委員会委員長 川添 堯彬

自己点検運営委員会委員 田中 昭男, 堂前 尚親
覚道 健治, 諏訪 文彦
末瀬 一彦, 中村 廣志
東野 隆

以上 H. 20. 4. 1 付

自己点検実施委員会委員長 川添 堯彬

自己点検実施委員会委員 豊田 紘一, 諏訪 文彦
田中 昭男, 福島 久典
大浦 清, 上田 雅俊
森田 章介, 覚道 健治
小谷順一郎, 田中佐和子
中村 廣志, 東野 隆
安藤 孝幸, 松村 誠一
種坂 隆志, 高須 聡
西堤 京子, 牧谷 弘幸
東 真一郎

以上 H. 20. 4. 1 付

枚方資料センター管理運営委員会委員長 覚道 健治

枚方資料センター管理運営委員会委員 村上 勝, 田治米保夫
豊田 紘一, 神原 正樹
大浦 清, 末瀬 一彦
田中佐和子, 中村 廣志
東野 隆, 松村 誠一
池田 良則

以上 H. 20. 4. 1 付

財務企画委員会委員長 川添 堯彬
 財務企画委員会委員 新田 孟, 村上 勝
 田治米保夫, 三谷 卓
 伊達 洋彦, 豊田 紘一
 諏訪 文彦, 田中 昭男
 神原 正樹, 小正 裕
 覚道 健治, 末瀬 一彦
 田中佐和子, 前野 隆
 中村 廣志, 松村 誠一
 以上 H. 20. 4. 1 付

財務企画委員会給与部会部長 新田 孟
 財務企画委員会給与部会部会員
 大浦 清, 小正 裕
 田中佐和子, 前野 隆
 中村 廣志, 松村 誠一
 高須 聡
 以上 H. 20. 4. 1 付

財務企画委員会経営部会部長 田治米保夫
 財務企画委員会経営部会部会員
 村上 勝, 岡 邦恭
 三谷 卓, 橋本 猛伸
 伊達 洋彦, 豊田 紘一
 諏訪 文彦, 田中 昭男
 神原 正樹, 覚道 健治
 堂前 尚親, 末瀬 一彦
 田中佐和子, 前野 隆
 中村 廣志, 松村 誠一
 以上 H. 20. 4. 1 付

財務企画委員会病院の運営に関する事項部会部長 覚道 健治
 財務企画委員会病院の運営に関する事項部会部会員
 村上 勝, 田治米保夫
 三谷 卓, 伊達 洋彦
 上田 雅俊, 森田 章介
 小谷順一郎, 東野 隆
 森田 恭生, 今道 裕之
 東 真一郎
 以上 H. 20. 4. 1 付

財務企画委員会牧野学舎将来計画作業部会部会長 村上 勝
 財務企画委員会牧野学舎将来計画作業部会部会員
 豊田 紘一, 長家 秀博
 田中 昭男, 神原 正樹
 小正 裕, 覚道 健治
 堂前 尚親, 末瀬 一彦
 田中佐和子, 松村 誠一
 以上 H. 20. 4. 1 付

大阪歯科大学附属病院財務改善検討委員会委員長 田治米保夫
 大阪歯科大学附属病院財務改善検討委員会副委員長 村上 勝
 大阪歯科大学附属病院財務改善検討委員会委員
 三谷 卓, 伊達 洋彦
 下村錢三郎, 覚道 健治
 末瀬 一彦, 中村 廣志
 東野 隆
 以上 H. 20. 4. 1 付

専門学校財政改善等検討委員会委員長 三谷 卓
 専門学校財政改善等検討委員会委員
 村上 勝, 田治米保夫
 諏訪 文彦, 田中 昭男
 覚道 健治, 末瀬 一彦
 田中佐和子, 中村 廣志
 松村 誠一
 以上 H. 20. 4. 1 付

ODUウェルネス・ホール管理運営委員会委員長 覚道 健治
 ODUウェルネス・ホール管理運営委員会委員
 豊田 紘一, 新池 孜
 長家 秀博, 諏訪 文彦
 大浦 清, 林 宏行
 堂前 尚親, 末瀬 一彦
 田中佐和子, 中村 廣志
 東野 隆, 高須 聡
 西堤 京子, 東 真一郎
 以上 H. 20. 4. 1 付

広報委員会委員長 川添 堯彬
 広報委員会委員 安藤 孝幸, 松村 誠一
 種坂 隆志
 以上 H. 20. 4. 1 付

人権啓発推進委員会委員長 川添 堯彬
 人権啓発推進委員会委員 村上 勝, 田治米保夫
 三谷 卓, 諏訪 文彦
 西川 泰央, 田中 昭男
 篠原 光子, 小正 裕
 覚道 健治, 辻 一起子
 田中佐和子, 中村 廣志
 東野 隆, 松村 誠一
 高須 聡, 西堤 京子
 東 真一郎, 種坂 隆志
 以上 H. 20. 4. 1 付

個人情報保護委員会委員長 川添 堯彬
 個人情報保護委員会委員 檜 則章, 豊田 紘一
 諏訪 文彦, 田中 昭男
 福島 久典, 林 宏行
 小正 裕, 覚道 健治
 堂前 尚親, 末瀬 一彦
 田中佐和子, 中村 廣志
 東野 隆, 三木 慶一
 以上 H. 20. 4. 1 付

個人情報保護委員会大学部門委員会委員長 豊田 紘一
 個人情報保護委員会大学部門委員会委員
 檜 則章, 諏訪 文彦
 田中 昭男, 林 宏行
 堂前 尚親, 末瀬 一彦
 西堤 京子, 牧谷 弘幸
 伊藤 淑子, 三木 慶一
 以上 H. 20. 4. 1 付

個人情報保護委員会病院部門委員会委員長 覚道 健治
 個人情報保護委員会病院部門委員会委員
 上田 雅俊, 森田 章介

小谷順一郎, 嘉藤 幹夫
 佐久間泰司, 東野 隆
 森田 恭生, 今道 裕之
 東 真一郎
 以上 H. 20. 4. 1 付

個人情報保護委員会事務部門委員会委員長 中村 廣志
 個人情報保護委員会事務部門委員会委員
 田中佐和子, 前野 隆
 東野 隆, 松村 誠一
 高須 聡, 牧谷 弘幸
 三木 慶一, 東 真一郎
 池田 良則
 以上 H. 20. 4. 1 付

総務部委員会委員長 小正 裕
 総務部委員会委員 田中 昭男, 大浦 清
 豊田 紘一, 諏訪 文彦
 上田 雅俊, 森田 章介
 覚道 健治, 田中佐和子
 中村 廣志, 松村 誠一
 高須 聡
 以上 H. 20. 4. 1 付

廃棄物処理委員会委員長 小正 裕
 廃棄物処理委員会委員 西川 泰央, 池尾 隆
 上田 雅俊, 覚道 健治
 田中佐和子, 中村 廣志
 松村 誠一, 大上 登
 以上 H. 20. 4. 1 付

教務部委員会委員長 田中 昭男
 教務部委員会委員 川合進二郎, 西川 泰央
 池尾 隆, 山本 一世
 林 宏行, 小正 裕
 松本 尚之, 清水谷公成
 以上 H. 20. 4. 1 付

カリキュラム委員会委員長 田中 昭男
 カリキュラム委員会委員 川合進二郎, 西川 泰央
 池尾 隆, 山本 一世

林 宏行, 小正 裕
松本 尚之, 清水谷公成
以上 H.20.4.1付

共用試験歯学OSCE実行委員会委員長

山本 一世

共用試験歯学OSCE実行委員会委員

合田 征司, 西川 哲成
吉川 一志, 馬場 忠彦
高津 兆雄, 岡崎 定司
田中 昌博, 前田 照太
井関 富雄, 中嶋 正博
太田千佳子, 古跡 孝和
園本 美恵, 百田 義弘
米谷 裕之
以上 H.20.4.1付

共用試験歯学CBT委員会委員長

西川 泰央

共用試験歯学CBT委員会委員

檜 則章, 豊田 紘一
藤原 眞一, 檜枝 洋記
戸田 伊紀, 合田 征司
山中 武志, 篠原 光子
河野 智生, 小野 圭昭
楠本 哲次, 吉峰 茂樹
松本 和浩, 大西 祐一
板垣 恵輔, 嘉藤 幹夫
杉岡 伸悟, 岩井 康智
井上 博, 富永 和也
今井 弘一, 三宅 達郎
白石 充, 田 匡宏
永田 雄己, 大久保 直
以上 H.20.4.1付

学生部委員会委員長

諏訪 文彦

学生部委員会委員

佐ノ木幸夫, 豊田 紘一
上田 雅俊, 小谷順一郎
堂前 尚親, 岩井 康智
以上 H.20.4.1付

学内食堂管理運営委員会委員長

諏訪 文彦

学内食堂管理運営委員会委員

覚道 健治, 大東 道治
岩井 康智, 山中 武志
三宅 達郎, 大久保 直
田中佐和子, 中村 廣志
東野 隆, 松村 誠一
西堤 京子, 東 真一郎
以上 H.20.4.1付

図書館運営委員会委員長

堂前 尚親

図書館運営委員会委員

川合進二郎, 西川 泰央
池尾 隆, 小谷順一郎
以上 H.20.4.1付

図書資料選択委員会委員長

堂前 尚親

図書資料選択委員会委員

柘植 昌保, 藤原 眞一
岡村 英幸, 玉田 善堂
中塚美智子, 内橋 賢二
田村 功, 益野 一哉
杉森千恵子, 野崎 中成
秋山 真理, 土居 貴士
谷本 啓彰, 稲本 雄之
田口洋一郎, 浅井 崇嗣
藤井 孝政, 吉峰 茂樹
田伏 信, 堀井 活子
蓮舎 寛樹, 板垣 恵輔
白敷 慎也, 橋本佳代子
宮前 雅見, 毛利 大介
米谷 裕之, 菊池 優子
山田 裕, 岸本 直子
以上 H.20.4.1付

教育情報センター管理運営委員会委員長

林 宏行

教育情報センター管理運営委員会委員

池尾 隆, 山本 一世
小正 裕, 清水谷公成
藤田 淳一, 藤原 眞一
田中 昌博, 嘉藤 幹夫
戸田 伊紀, 今井 弘一
川崎 弘二, 堀井 活子
松村 誠一, 伊藤 淑子
三木 慶一, 東 真一郎

西本 敏彦
以上 H. 20. 4. 1 付

学術研究奨励基金管理運営委員会委員長

田治米保夫

学術研究奨励基金管理運営委員会委員

村上 勝, 諏訪 文彦
田中 昭男
以上 H. 20. 4. 1 付

学術研究奨励助成金交付審査委員会兼共同研究
助成審査委員会

委員長 田中 昭男
委員 西川 泰央, 大浦 清
小正 裕, 森田 章介
以上 H. 20. 4. 1 付

国際交流部委員会委員長

神原 正樹

国際交流部委員会委員

池尾 隆, 福島 久典
山本 一世, 小谷順一郎
方 一如

国際交流部委員会オブサーバー

藤田 淳一
以上 H. 20. 4. 1 付

公開講座委員会委員長

川合進二郎

公開講座委員会委員

西川 泰央, 山本 一世
上田 雅俊, 松本 尚之
藤原 眞一, 山中 武志
岡崎 定司
以上 H. 20. 4. 1 付

医の倫理委員会委員長

覚道 健治

医の倫理委員会委員

川合進二郎, 諏訪 文彦
福島 久典, 大浦 清
松本 尚之, 堂前 尚親
樫 則章
以上 H. 20. 4. 1 付

健康管理委員会委員長

堂前 尚親

健康管理委員会委員

諏訪 文彦, 神原 正樹
覚道 健治, 清水谷公成
田中佐和子, 中村 廣志

東野 隆, 高須 聡
西堤 京子
以上 H. 20. 4. 1 付

平成20年度FD委員会委員長

森田 章介

平成20年度FD委員会委員

西川 泰央, 池尾 隆
山本 一世, 林 宏行
小正 裕, 小谷順一郎
藤原 眞一
以上 H. 20. 4. 1 付

ブラッシュアップ委員会委員長

林 宏行

ブラッシュアップ委員会委員

樫 則章, 岡村 英幸
戸田 伊紀, 隈部 俊二
内橋 賢二, 田村 功
山中 武志, 篠原 光子
吉川 一志, 馬場 忠彦
高津 兆雄, 柿本 和俊
楠本 哲次, 前田 照太
松本 和浩, 山本 浩貴
板垣 恵輔, 竹安 正治
杉岡 伸悟, 富永 和也
今井 弘一, 三宅 達郎
永田 雄己, 大久保 直
以上 H. 20. 4. 1 付

組換えDNA実験安全委員会委員長

福島 久典

組換えDNA実験安全委員会委員

川合進二郎, 神原 正樹
堂前 尚親, 樫 則章
山中 武志, 中村 廣志
以上 H. 20. 4. 1 付

サイバーキャンパス審議委員会委員長

豊田 紘一

サイバーキャンパス審議委員会委員

池尾 隆, 大浦 清
林 宏行, 小正 裕
覚道 健治, 清水谷公成
堂前 尚親, 中村 廣志
東野 隆, 安藤 孝幸

松村 誠一, 西堤 京子
三木 慶一
以上 H.20.4.1付

ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理審査委員会委員長
田中 昭男

ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理審査委員会委員
川合進二郎
福島 久典, 大浦 清
覚道 健治, 小谷順一郎
堂前 尚親, 檜 則章
以上 H.20.4.1付

動物実験委員会委員長 西川 泰央
動物実験委員会委員 川合進二郎, 池尾 隆
福島 久典, 森田 章介
檜 則章, 竹村 明道
岡崎 定司, 隈部 俊二
以上 H.20.4.1付

セクシュアル・ハラスメント防止委員会委員長
川添 堯彬
セクシュアル・ハラスメント防止委員会委員
諏訪 文彦, 小正 裕
覚道 健治, 田中佐和子
中村 廣志, 高須 聡
西堤 京子
以上 H.20.4.1付

ホームページ委員会委員長 豊田 絃一
ホームページ委員会委員 池尾 隆, 大浦 清
林 宏行, 小正 裕
覚道 健治, 清水谷公成
堂前 尚親, 中村 廣志
東野 隆, 安藤 孝幸
松村 誠一, 西堤 京子
三木 慶一
以上 H.20.4.1付

ネットワーク小委員会委員長 藤原 眞一
ネットワーク小委員会委員
辻林 徹, 今井 弘一

四井 資隆, 上村 守
浅井 崇嗣, 三木 慶一
野中登貴男, 出水 浩一
以上 H.20.5.1付

大阪歯科大学創立100周年記念行事企画委員会
委員長 川添 堯彬
大阪歯科大学創立100周年記念行事企画委員会委員
新田 孟, 村上 勝
田治米保夫, 岡 邦恭
三谷 卓, 橋本 猛伸
伊達 洋彦, 白神 進
下村錢三郎, 諏訪 文彦
田中 昭男, 覚道 健治
田中佐和子, 前野 隆
中村 廣志
以上 H.20.4.1付

第一学年 学年指導教授 西川 泰央
助言教員 辻林 徹, 牧田 佳真
檜 則章, 上村 守
中塚美智子, 堂前 英資

第二学年 学年指導教授 池尾 隆
助言教員 藤田 淳一, 岡村 英幸
長家 秀博, 戸田 伊紀
隈部 俊二, 内橋 賢二

第三学年 学年指導教授 川合進二郎
助言教員 合田 征司, 富永 和也
山根 一芳, 野崎 中成
武田 昭二, 土居 貴士

第四学年 学年指導教授 松本 尚之
助言教員 井上 博, 和唐 雅博
山中 武志, 篠原 光子
今井 弘一, 神 光一郎

第五学年 学年指導教授 林 宏行
助言教員 吉川 一志, 田 匡宏
神原 敏之, 古跡 孝和
白敷 慎也, 橋本佳代子

第六学年 学年指導教授 山本 一世
副学年指導教授 池尾 隆, 松本 尚之
助言教員 高津 兆雄, 岡崎 定司
田中 昌博, 兼平 治和

吉田 博昭, 大西 祐一
以上 H. 20. 4. 1 付

学友会会長 新池 孜
H. 20. 4. 1 付

第6学年eプロジェクトチームチームリーダー
山本 一世

第6学年eプロジェクトチームサブリーダー
池尾 隆
松本 尚之

第6学年eプロジェクトチームチームメンバー
樫 則章

岡村 英幸, 上村 守
隈部 俊二, 内橋 賢二
池尾 隆, 富永 和也
山中 武志, 野崎 中成
武田 昭二, 三宅 達郎
吉川 一志, 馬場 忠彦
河野 智生, 浅井 崇嗣
柏木 宏介, 前田 照太
松本 和浩, 大西 祐一
蓮舎 寛樹, 板垣 恵輔
竹安 正治, 橋本佳代子
以上 H. 20. 5. 14 付

大学院委員会委員長 大浦 清
大学院委員会委員 諏訪 文彦, 西川 泰央
田中 昭男, 福島 久典
小正 裕, 大東 道治
堂前 尚親
以上 H. 20. 4. 1 付

中央歯学研究所委員会委員長 福島 久典
中央歯学研究所委員会委員
川合進二郎, 西川 泰央
上田 雅俊, 森田 章介
山中 武志, 隈部 俊二
内橋 賢二, 合田 征司
土居 貴士, 橋本 典也
中村 廣志, 牧谷 弘幸
以上 H. 20. 4. 1 付

中央歯学研究所画像処理施設長 内橋 賢二
中央歯学研究所形態系研究施設長 内橋 賢二
中央歯学研究所歯科生物学I施設長 山中 武志
中央歯学研究所生体材料研究施設長 合田 征司
中央歯学研究所組織培養実験施設長 橋本 典也
中央歯学研究所咀嚼機能研究施設長 土居 貴士
中央歯学研究所低温実験施設長 山中 武志
中央歯学研究所動物施設長 隈部 俊二
中央歯学研究所分析機器施設長 合田 征司
中央歯学研究所レーザー実験施設長 山中 武志
以上 H. 20. 4. 1 付

動物施設幹事会幹事長 隈部 俊二
動物施設幹事会幹事

篠原 光子, 西川 哲成
戸田 伊紀, 田村 功
成瀬 真弓, 大上 登
以上 H. 20. 4. 1 付

動物施設利用代表者会議委員長 隈部 俊二
動物施設利用代表者会議委員

篠原 光子, 西川 哲成
戸田 伊紀, 田村 功
成瀬 真弓, 大上 登
檜枝 洋記, 高間 敬子
山中 武志, 大島 浩
川崎 弘二, 鈴木康一郎
辻 則正, 民上 良将
岡崎 定司, 鳥井 克典
呉本 晃一, 松本 和浩
窪 寛仁, 蓮舎 寛樹
板垣 恵輔, 白敷 慎也
加藤 裕彦, 澤井 宏文
村上よし子
以上 H. 20. 4. 1 付

臨床研修管理運営委員会外部委員
江原 雄二, 山口 邦男
田口 洋見
以上 H. 20. 4. 1 付

大阪歯科大学附属病院歯科医師臨床研修プログラム

総括責任者 覚道 健治

副総括責任者 森田 章介, 小谷順一郎

院内研修担当者部会長 山本 一世

院外研修担当者部会長 小出 武

保存系責任者 上田 雅俊

補綴系責任者 川添 堯彬

口腔外科系責任者 森田 章介

単独型プログラム責任者 紺井 拡隆

S (単独型) 副プログラム責任者

小川 文也, 北野 忠則

大井 治正

複合型プログラム責任者 清水谷公成

複合型副プログラム責任者

岩田 有弘, 畠 銀一郎

河野 智生, 岡崎 定司

楠本 哲次, 前田 照太

井関 富雄, 中嶋 正博

松本 尚之, 古跡 孝和

嘉藤 幹夫, 百田 義弘

米谷 裕之, 米田 護

井上 雅裕

指導歯科医 (単独型、複合型兼任)

山本 一世, 吉川 一志

岩田 有弘, 畠 銀一郎

好川 正孝, 上田 雅俊

高津 兆雄, 河野 智生

岡崎 定司, 伊崎 克弥

楠本 哲次, 佐藤 正樹

前田 照太, 西崎 宏

森田 章介, 井関 富雄

覚道 健治, 中嶋 正博

松本 尚之, 古跡 孝和

嘉藤 幹夫, 小谷順一郎

百田 義弘, 小出 武

米谷 裕之, 米田 護

井上 雅裕

指導歯科医 (単独型) 辻 準之助, 紺井 拡隆

福住 峯行, 小川 文也

大井 治正, 北野 忠則

菊池 優子

指導歯科医 (複合型) 谷本 啓彰, 初岡 昌憲

至田 宗泰, 西川 郁夫

池永 英彰, 稲本 雄之

辻 則正, 緒方智壽子

柿本 和俊, 小野 圭昭

井上 太郎, 淺井 崇嗣

川本 章代, 田中 栄士

川添 堯彬, 田中 昌博

更谷 啓治, 柏木 宏介

土佐 淳一, 田中 順子

鳥井 克典, 藤井 孝政

兼平 治和, 川野 晃

吉峰 茂樹, 畦崎 泰男

呉本 晃一, 山本さつき

奥田 恵司, 吉田 博昭

田伏 信, 大西 祐一

堀井 活子, 窪 寛仁

蠅庭 秀也, 後藤 基宏

西浦 亜紀, 蓮舎 寛樹

太田千佳子, 清水谷公成

板垣 恵輔, 四井 資隆

白敷 慎也, 大東 希好

園本 美恵, 人見さよ子

佐久間泰司, 杉岡 伸悟

加藤 裕彦, 橋本佳代子

永目 誠吾, 尾形 圭五

松本 晃一, 辻 一起子

辰巳 浩隆, 三ヶ山茂樹

大西 明雄, 樋口 恭子

江藤 隆徳, 山田 裕

金平裕久美

以上 H. 20. 4. 1 付

講師 (非常勤) 委嘱

解剖学講座

清水 孝治, 蔵前 勝彦

疋田 芳寛, 島田 純治

中村 雅彦, 江原 雄二

武田 憲明, 大塚 拓三

中道 哲, 北村清一郎

牧草 一人, 三宅 晴記

藤原 成樹, 松川 信夫

武田 安弘, 中辻 勇志

池 宏海

口腔解剖学講座

藤井 征, 小林 徹
長楽 謙輔, 阪本 義之
鄭 在 泳, 橋爪 年世
菊池 史郎, 多田 逸
荻田 雄紀, 山本 洋幸
松田 哲一, 椿井 孝芳
朱 成 淑, 藤原 士郎

生理学講座

新谷 衛, 山本 修治
岸 文隆, 芳本 忍
榎村 光仁, 長谷川彰則
大野 榮, 高井 規安
稲田 條治, 陣内皓之祐
小山 なつ, 吉村 佳博
岩崎 精彦, 宮尾 治樹
村上 浩孝, 岩住 征紀
森 明彦

生化学講座

藤田 厚, 塩路伊佐子
涌本 昇, 長澤 成明
畑下 芳史, 梁川 国昭
高石 佳知, 小坂 広之
高屋 毅史, 中川 雅夫
伊東 禎雄, 倉阪 雅巳
有山金一郎, 田中 義人
天方 靖治

口腔病理学講座

住谷 道夫, 岡下 守正
芦田 欣一, 善 睦彦
奥野 夏樹, 前田満里子
新谷 牧, 岡村 敬次
松井 正剛, 川口 佳夫
武田 良一, 東浦 宏守
和田 聖二, 河原 康二
山根木康嗣, 佐久間 勲
筒井 淳, 西村 泰典
畑 慎太郎

細菌学講座

井上 純一, 小川 歆
村松 洋司, 伊藤 康夫
西川 文男, 藤田 康一

水野 周二, 山本 範子
吉竹 弘行, 和手 甚京
松野 ・晃, 亀井 真紀
太田 利光, 多々見敏章
中沢 賢一, 小幡 登
廣畑 頭一, 森 直樹
石原 研, 水川 健司

薬理学講座

石川 協, 大草 修
森川 裕, 岡本 卓士
九門 好彦, 井上 博明
吉岡 三四, 宮田 敏生
坂本 伸人, 武内信二郎
高山 昭則, 河野 元一
村川 昇, 田地 陽一
狭川 正, 林 昭典
野阪ひとみ, 日高 厚

歯科理工学講座

石崎 順啓, 西田 堯吉
今西 嘉次, 川原 大
五老海輝一, 片岡 喜平
三浦 康伸, 森口 泰成
上田 明博, 寛 晋平

口腔衛生学講座

奥 忠之, 白石 雅照
今井 意晴, 野村 一夫
尾辻 淳, 藤井 由希
中川 哲也, 森野与史緒
熊崎 眞義, 日吉 紀子
村田 省三, 井上 富夫
小林 正憲, 岡村 伸江
奥村 信, 伊津 元博
平塚 靖規, 生内 信男
清水 一彦, 高島隆太郎

歯科保存学講座

河見 忠雄, 黒瀬 信隆
福井 敬和, 小山内 惺
井上 昌孝, 谷 哲
南 昌宏, 藤原 秀樹
三木 秀治, 河村 昌哲
藤田 昌弘, 吉原 正晃
妻野 純朗, 廣瀬 泰明

砂田 和久, 宮地 秀彦
 諏訪沙耶佳, 林原 久盛
 岩本 圭司

口腔治療学講座

塩見 聰, 奥野 一吉
 細見 環, 速水 茂
 巖 恭輔, 上村 学
 寺田 行男, 金村 成智
 河津 正文, 山田 健藏
 薄 孝, 逸見 浩史
 木村 喜彦, 上田 佳世
 辻 一郎, 吉川 伸
 堀 宏之, 松田 孝之
 川村 和仁

歯周病学講座

横山 邦生, 林 正純
 南林 繁良, 中垣 直毅
 本城 範典, 西川 義公
 寺西 義浩, 島山 善行
 松田 正文, 實重 英仁
 神田 浩, 岡西 裕公
 釜谷 晋平, 白井 健雄
 光山 誠, 民上 良徳
 福永 剛士, 英保 武志
 橋本 光示, 大塚 健司

高齢者歯科学講座

亀水 忠茂, 宮 博文
 浅井 加雄, 松尾 光至
 大槻 榮人, 田中 球生
 高橋 一也, 原 佳代子
 右遠 英悟, 額田 和門
 蘆田 貴司, 北山 展弘
 井上 愛, 上田 章浩
 氷見 彰敏, 村岡 正規
 藤岡宗之輔, 楠 良子

有歯補綴咬合学講座

藤野 明, 鶴身 敬三
 辻 功, 松島 諒
 太田 邦雄, 佐川 寛一
 河野 亘, 水井 雅則
 馬場 俊輔, 柳田 昌宏
 長砂 孝, 徳永 徹

仲西 健樹, 田中 誠也
 瀧川 博嗣, 今井 敦子
 上田 直克, 佐古 好正
 木村 公一, 朴 康 銘

欠損歯列補綴咬合学講座

犬伏 義臣, 泉谷祐紀員
 加藤 博, 加藤 信次
 ・田 和也, 岡田 正傳
 奥田 昌義, 三谷 徹
 吉峰美千代, 奥田 啓之
 原 雄大, 藤原 到
 恩地 良幸, 池田 直也
 西川 敏文, 竜門 宏
 吉川 洋史, 島谷 肇
 上り口晃成, 小林 将之

口腔外科学第一講座

連 利隆, 島 盛隆
 大石 建三, 大杉 泰敏
 栗林 信仁, 佐々木 昇
 酒匂 潤, 小渕 匡清
 青柳 信好, 植野 茂
 浦 栄吾, 井上 明洋
 杉本 圭介, 卞 勝人
 松本 康宏, 黒田 卓
 篠田 豊, 岩井 理恵
 木下 智

口腔外科学第二講座

仁木 寛, 有家 巧
 赤根 昌樹, 杉立 光史
 柚木 大和, 郷 真奈武
 林 秀一, 岩本守市良
 鹿野 学, 山崎 行庸
 岩崎 春美, 栗田 賢一
 森下 寛史, 田村 浩伸
 濱本 和彦, 阪本 貴司
 角熊 雅彦

歯科矯正学講座

大浦 寿哉, 犬伏 俊嗣
 笹岡 邦夫, 金 漢 俊
 寺井 裕, 高橋 啓
 山田 尋士, 野田 真
 大塚 重雄, 金 錫 俊

関 詔夫, 壺内 建行
長屋 和也, 岡林 聰
本田 領, 速水 勇人
山本 昌宏, 岡下慎太郎
玉田 亨, 荒垣 芳元

齒科放射線学講座
今井 一彦, 内海 潔
江原 昌弘, 田中 義弘
山崎 章, 木原 卓司
川植 康史, 室井 誠
松本 義之, 釜田 博史
藤谷 富男

小児歯科学講座
池本 博之, 石井 信行
大道 士郎, 大谷 敬三
梶本祐一郎, 嘉ノ海龍三
佐伯 克彦, 高松 恒美
大東 美穂, 中村 弘之
濱田 義彦, 保澤 静
松尾 博之, 三戸 應則
三村 雅一, 山尾 雅朗
渡邊 邦一, 渡邊 景子
原 直仁

齒科麻酔学講座
留守 信興, 豊田 芳郎
中村 久美, 藤 喜久雄
足立 了平, 河合 峰雄
金銅 英二, 水野 誠
姜 由紀, 釜田 隆
安留 輝之, 松田 佳子
金田 一弘, 石川 素子
讃岐 拓郎

内科学講座
高林 有道, 熊谷 俊一
根住 直史, 濱中大三郎
岡崎 俊朗, 梅原 久範
原川 奈梨, 米田 修
薬師寺健太郎, 奥田 恵子
宮地 理彦

耳鼻咽喉科学講座
田幡 純, 田幡 治
服部 一秀, 森本伊智郎

谷 泰一郎, 窪 盛偉
鎌田 守人, 山下 雅資
城戸 仁博

一般教育科目

人権論 久保井規夫
文学 石黒 義昭
医療人のための文章表現 石黒 義昭
心理学 堀川 雅美
社会学 平 英美
総合基礎英語 平田 和彦
総合基礎英語 片岡 宏仁
上級会話・リスニング Richard Miller
上級会話・リスニング Oliver Kinghorn
ドイツ語 吉田耕太郎
フランス語 中野康次郎
中国語 王 標
メディア論 吉本 陽一
源氏絵を読む 井上 新子
基礎情報科学 中尾 泰士
基礎情報科学 福森俊一郎
体育実技 松原 慶子
体育実技 福田 厚治
体育実技 儀満 大輔
体育実技 山田なおみ

講座所属外

外科学 稲本 俊
外科学 山城 大泰
医事法制学 稲葉 一人
統計・医療統計学 有田清三郎
法医学・法歯学 安原 正博
小児科学 住本 真一
皮膚科学 山崎 文和
精神科学 上野 千穂
皮膚科学 大江 秀一
耳鼻科 北尻 雅則
耳鼻科 岩井 大
耳鼻科 朝子 幹也

兼担者

眼科学 岸本 直子
口腔診断科 米谷 裕之, 辻 一起子
辰巳 浩隆, 三ヶ山茂樹

大西 明雄
 口腔インプラント科 江藤 隆徳, 井上 雅裕
 歯科審美学 末瀬 一彦
 以上 H. 20. 4. 1 付

大学院歯学研究科
 解剖学 江原 雄二, 清水 孝治
 池 宏海
 口腔解剖学 朱 成 淑
 病理学 螺良 愛郎, 魚部 健市
 細菌学 古川 智代
 薬理学 中川 秀幸
 口腔衛生学 安藤 昌俊, 田中 秀直
 米満 正美, 酒井 怜子
 歯科保存学 善入 寛仁, 福井 優樹
 歯周病学 小池 敏克, 富井裕紀子
 寺田昌一郎
 高齢者歯科学 岩山 和史, 上杉 直斗
 亀水 忠宗, 坂井 大吾
 福岡 哲郎
 有歯補綴咬合学 龍田 光弘, 中西 紀
 鷹尾 智典, 疋田 陽造
 鶴身 暁子
 欠損歯列補綴咬合学 田村 佳則, 土居 聖
 江藤 隆仁, 加藤 尚
 松野 彰仁
 口腔外科学第一 志水 秀郎, 北郷 明成
 小川裕美子, 澤田 育典
 松島 由紀
 口腔外科学第二 松本 俊郎, 中田 研
 室井 悠里, 本橋 具和
 小児歯科学 佐野 祥子, 濱田吉之輔
 本山 正治, 小川 慶知
 歯科麻酔学 徳永 敦, 山下 智章
 以上 H. 20. 4. 1 付

歯科技工士専門学校講師(非常勤)

長家 秀博, 松原 慶子, 山本 卓世
 佐ノ木幸夫, 藤田 淳一, 上野乃武彌
 川原 春幸, 武田 昭二, 大島 浩
 都賀谷紀宏, 諏訪 文彦, 竹村 明道
 戸田 伊紀, 上村 守, 東 義景

岩井 康智, 隈部 俊二, 豊田 紘一
 新池 孜, 川合進二郎, 樫 則章
 西川 泰央, 池尾 隆, 田中 昭男
 福島 久典, 神原 正樹, 方 一如
 北條 博一, 小谷順一郎, 川添 堯彬
 田中 昌博, 更谷 啓治, 楠本 哲次
 江藤 隆徳, 佐藤 琢也, 井上 宏
 前田 照太, 川野 晃, 山本さつき
 権田 悦通, 小正 裕, 小野 圭昭
 郷上 勲, 松本 尚之, 大東 道治
 嘉藤 幹夫, 竹安 正治, 山本 一世
 鈴木康一郎, 清水谷公成, 覚道 健治
 森田 章介, 桑田 正博, 本多 正明
 山下 恒彦, 和田 弘毅, 足立 勝
 宮川 千一, 高橋 恵美, 杉上 圭三
 西村 徹, 河村 龍三, 大森 三生
 木本 吉昭, 加地 公夫, 西村 謙
 篠崎 照泰, 内木 雄一, 佐藤 繁男
 永井 利明, 菊田 茂, 小山 和美
 吐山 寛, 宮川 浩司, 齋藤 俊文
 堀内 賢, 武森 政文, 中辻 孝一
 木村 洋三, 西村 元彦, 明崎 納
 辻 正敏, 林 美己, 東 宗秀
 弓場 信三

以上 H. 20. 4. 1 付

歯科衛生士専門学校講師(非常勤)

川合進二郎, 岡村 英幸, 檜枝 洋記
 新池 孜, 藤原 眞一, 豊田 紘一
 樫 則章, 中前 純治, 石黒 義昭
 谷 康平, 山本 卓世, 矢尾 和彦
 佐ノ木幸夫, 藤田 淳一, 長家 秀博
 福田 厚治, 諏訪 文彦, 竹村 明道
 戸田 伊紀, 玉田 善堂, 上村 守
 西川 泰央, 内橋 賢二, 池尾 隆
 鎌田 愛子, 吉川 美弘, 堂前 英資
 岩井 康智, 中塚美智子, 田中 昭男
 西川 哲成, 福島 久典, 山中 武志
 大浦 清, 篠原 光子, 野崎 中成
 神原 正樹, 土居 貴士, 高島隆太郎
 川崎 弘二, 三宅 達郎, 佐久間泰司
 中村 亜紀, 今西 秀明, 福井 和枝

起因するCO₂の排出量であり、省エネルギーは、このCO₂を減らし、地球温暖化防止だけでなく、エネルギー資源の有効活用が図れます。

大学等は、一般的に多くの施設を持ち、活動時間も長いため、業務部門の他業種と比較しても多くのエネルギーを消費します。また、近年、施設の増築や改修、空調や照明等の室内環境の向上、情報通信機器の増加、研究内容の高度化等により、エネルギーの消費量は増加する傾向にあります。

光熱費等の増加は、財務経営に大きな影響を及ぼします。限られた運営経費の中で豊かな教育研究環境を維持していくためには、全学的な取り組みによる省エネルギー対策（「いつ」「どこで」「なにが」「どれだけ」エネルギーが使用されているか、またそこに無駄がないかの検証し、中長期的な計画の作成）を推進し、運営コストの効率化を図ることが重要です。学校における電気の使用割合は、空調＋照明＝86% とほとんどを占めており、運用改善が求められています。

まずは、教職員・学生への啓発を第一として、建物の出入り口や通路などに省エネポスターを掲示したり、空調・照明等のスイッチ付近に省エネシールを貼付けたりし、‘ひとりひとりが自覚すること’を促せる事を徹底させる環境作りが必要です。

例えば、デスクトップPCの場合、1日1時間の利用時間短縮で年間690円の節約になるそうで、「昼休みや外出など不使用時にPC等の電源はこまめに消す」「昼休みの時は照明を半分消す」など、職員が一丸となって課題認識力を高める＝気づく事が大切だと思います。

もちろん、課題だけ掲げられてもなかなか省エネ活動は持続されないので、省エネをした事で電気代が前月比・前年比でこんなにも節約になったと数値化して「成果の見える化」を図る事も重要だと思います。

皆さんのご協力の程よろしくお願い致します。

大阪歯科大学広報 第150・151号
発効日 平成20年 9月30日
編集発行 広報委員会
〒573-1121 枚方市楠葉花園町8-1
電話 072-864-3111